

大阪消防



救急特集 “いのち輝く” 救急需要対策と救命率の向上への取組／救急いろは
突撃取材!ウチはこんな訓練やってます!／正機関員への道

- ・全国の消防関係者をサポート 一般財団法人 大阪消防振興協会
- ・警防技術練成会最優秀署に聞きました!
- ・高齢者セーフティネット月間
- ・功績表彰

令和5年

9

No.882

月号

食べて遊んで癒されて、
極楽の殿堂ここにあり！

12F Bee RUSH 難波

11F～5F サウナ&カプセルアムザ
至高の快眠設備！本格派サウナ

展望露天風呂、美泡『萬の湯』

4F スシロー（西日本最大236席）

3F カラオケ BIGECHO・赤から

・さんばち屋・チキチキチキン

2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー

1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎

大東洋なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の
『アムザ 1000』

笑って
見送れ
最終電車！



〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-9-17

団体割引適用で割安！

※④を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 のための保険

1

団体割引適用
30%

消防職員傷害保険

傷害総合保険

募集時期 ■ 7月～8月 1月～2月 2月～4月 (新採用プラン ※①②のみ)

2

団体割引適用
30%

消防職員医療保険

医療保険基本特約・疾病保険特約・
傷害保険特約セット団体総合保険

3

団体割引適用
30%

弁護のちから

弁護士費用総合補償
特約セット団体総合保険

年間保険料

4

4,000円

救命救急士の
専門業務も補償！

消防職員賠償責任保険

公務員賠償責任保険 (消防職員危険担保
特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行
為被害対応費用担保特約条項等付帯)

募集時期 ■ 1月～2月 7月～8月

5

消防職員がん保険

団体総合生活保険 (がん補償)

募集時期 ■ 1月～2月

団体割引適用
20%

6

消防職員介護保険

団体総合生活保険 (介護補償)

募集時期 ■ 1月～2月

団体割引適用
20%

7

消防退職者医療保険

団体総合生活保険 (医療補償)

募集時期 ■ 1月～2月

団体割引適用
約40%

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項等説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等については、不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社

一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 麹町一丁目ビル5階 TEL.03-3234-1331(代)

<引受保険会社> 損害保険ジャパン株式会社・東京海上日動火災保険株式会社

SJ22-10841 (2022/11/24)

22-TC07246 (2022年11月作成)

CONTENTS

大阪消防 9

表紙：本部救急隊

01：コンテンツ／災害概況	22：防災サプリ
02：救急特集 “いのち輝く”救急需要対策と救命率の向上への取組	23：消防士の品格
06：救急特集 救急いろは	24：We are Rookies!
08：救急特集 突撃取材!ウチはこんな訓練やっています!	26：大阪の消防NEWS
10：救急特集 正機関員への道	28：救急安心センターおおさかだより/今月の推しの一枚
11：ザ安全管理	29：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
12：全国の消防関係者をサポート 一般財団法人 大阪消防振興協会	30：落語DE火の用心
14：警防技術練成会最優秀署に聞きました! 突撃取材～番外編～ウチはこんな訓練やりました!	31：高齢者セーフティネット強化月間
18：震災対策一丁目一番地	32：現場に活かす!救急救命士国家試験問題
20：実録!!調査鑑識	33：九条みなみの昇任試験問題研究所
	34：【職務】令和4年中の規制対象物における火災発生状況(1)
	36：功績表彰
	40：アニマル環状線／編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
7月中件数	1	1	9	27	38	3	0	2	11	54
令和5年7月末累計	11	11	83	223	328	23	1	4	66	422
令和4年7月末累計	11	12	99	197	319	19	2	1	58	399
累計比較	0	▲1	▲16	26	9	4	▲1	3	8	23

◎救急概況

	救急出場
7月中件数(概数)	25,632
令和5年7月末累計	147,677
令和4年7月末累計	138,515
累計比較	9,162

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
令和5年7月末累計	2,493	726	4	741
令和4年7月末累計	2,347	723	2	737
累計比較	15	3	2	4



救急部長 山下 伸也

はじめに

高齢化の進展、気象環境や生活様式など社会の著しい変化を背景に、全国的にも救急需要が一層増大し、多様化していく中、安定的かつ持続的に救命率の向上を図っていくことは、救急業務における命題です。

救急出場件数が増加の一途を辿る中、これまでも大阪市消防局では救命率の向上を図るために、救急隊の増隊、救急救命士の養成をはじめとする救急業務実施体制の強化に努めるとともに、救急需要対策として、「予防救急の推進」や「救急安心センター（#7119）事業の推進」などに取り組んでまいりました。また、この数年間は新型コロナウイルス感染拡大に伴い医療機関の受け入れ態勢が随時変化する状況の中で、関係機関とも連携し、様々な工夫を凝らした取組を行ってきたところです。

当局的救急隊1隊あたりの年間平均出場件数は、3000件を超えており、令和4年の救急出場件数は24万4254件、過去最高となった令和元年に迫る出場件数となっています。そして、大阪市において75歳以上の人口がピークを迎えると推計されている令和12



特集

“いのち輝く”救急需要対策と救命率の向上への取組

市民の安全・安心の基盤をつくる 救急担当

救急担当は、救急業務に係る総務的な業務を行っています。今回はその中でも救急需要対策や市民の安心安全の確保に大きな役割を果たしている3つの業務を紹介いたします。

一つ目は、救急隊がどのような活動をすればいいのかをデータで示す、需要対策の要といえる統計業務です。救急担当は、大阪市消防局の全救急隊が作成する救急活動記録や病院外心肺機能停止患者記録（ウツタインデータ）を一年ごとに精査し、消防組織法第40条に基づき消防統計等を総務省に報告しています。ウツタインデータは、国際的な心肺蘇生結果の共通指標である「ウツタイン」様式のデータで、平成17年より全国の消防本部で入力開始され、これにより救急救命処置による救命効果を客観的に把握することができるようになりました。これらのデータでは、毎年の出場件数や搬送人員数を比較して、年ごとの救急需要の特徴を把握し、今後の救急に必要なものは何か、をいち早く見つけ、救急需要対策の指標として提示するほか、出場時間や、現場到着時間、搬送開始時間など現場対応にかかった時間を把握して、変化する救急現場に対応した活動方針を決定する根拠ともなっています。



二つ目は、市民からの信頼の根底となっている開示請求や公開請求への対応業務です。市民から寄せられる多くの問合せ以外に、警察、検察、弁護士及び裁判所等から救急活動に係る照会などもあります。これらへの回答は、市民の「知る権利」を尊重し、また、複数名で確認を行うなど、個人情報保護に万全を期した上で、速やかに行っています。

三つ目は、医療機関情報の伝達業務です。救急担当は、大阪市内をはじめ近隣の多くの医療機関情報を管理しています。病院側が何らかの都合で傷病者の受入が困難になった際は、病院からの情報を大阪市内の全救急隊に伝達し、搬送連絡時の病院選定をスムーズに行えるよう支えています。救命需要が増大する中、市民への安全・安心を提供するため大阪市消防局の救急活動をバックアップしています。

変化する救急現場に即した資器材の配備に尽力 救急装備担当

救急装備担当は、救急活動の質の向上や、救急隊員の労務負担を軽減するとともに、安全な救急活動を適正に実施するため、救急車両や資器材の調査、研究及び配備を行っています。

救急車両や資器材の購入にあたっては、当局内の他の部署とも連携して、

年度には救急需要もピークに達すると見込まれていることから、それまでに、その救急需要に見合った救急行政サービスを提供できるよう、救急隊を計画的に増隊するなど救急体制の強化を図っていかなければなりません。今後も増え続け、令和12年度のピーク以降も高止まりすると懸念される救急需要の中で、救急隊の行う救命処置の一層の高度化に対応しながら救命率を向上させるためには、更なる施策推進が必要です。

これらの救急需要に日々対応している救急隊員の職務環境の整備を含め、労務負担の軽減を図ることも、未来につながる救急業務を考える時、決して軽んじることができない重要な課題であると捉えています。

そこで、当局では令和5年4月、救急需要対策全体をマネジメントするため、新たに救急需要対策担当部長を設置する組織改編を行いました。この新組織を今後の救急需要に関する諸施策樹立の基盤として、総務省消防庁をはじめとする関係機関との連携を密に救急需要対策を推進していきます。

大阪・国際万博の開催を2年後に控えた大阪市内は国内外から多数の来訪者が予想されます。大阪市の救急が、万博スローガンのとおり「いのち輝く未来社会」をデザインできるように、これからも市民に対する良質な救急行政サービスを確保するとともに、安全と安心を提供してまいります。



救急需要対策担当部長 塩谷 壮史

仕様書や更新計画の作成・契約・支払いなどの業務を進行。積載資器材などについては、必要性や重要性の精査等を行い、新たに購入するだけでなく、使用頻度の少ない資器材や業務の廃止を検討し、常に現場に即した効果的な救急活動が実施できるよう備えています。令和2年度には「自動式心マッサージ器」を救急隊に配備し、傷病者に対する良質な胸骨圧迫を実施し、救命効果を高め、かつ救急隊員の負担の軽減を図りました。一方、令和4年度は使用頻度の少ない「輸液ポンプ」の更新を廃止し、令和5年度には、滅菌して再利用していた資器材をデイスポザブルに変更したため、「滅菌業務」を廃止し、滅菌準備にかかる救急隊員への負担を軽減しました。

また、電動ストレッチャーは、脚部の昇降を自動で行うことができることから、救急隊員の負担の軽減と、女性救急隊員の増加による活躍促進の面からも導入について検討するなど、新しい資器材の検討を幅広く進めています。

救急車など大きなものから、小さな備品まで、救急に関するあらゆる導入資器材について検討することにより、過酷な救急現場での負担の軽減を図るとともに、一人でも多くの傷病者の命を救えるように日々活動しています。



新しい自動式心マッサージ器についての検証を行っているところ

刻々と変容する現場に即応する救急隊を育成 救急指導担当

救急指導担当は、救急隊が常に変わりゆく現場に円滑かつ適切に活動できるように、救急業務の高度化やメディカルコントロールに関する取組を行っています。

主な取組としては、まず、救急活動の事後検証と検証会議の開催があります。救急活動の事後検証を行う検証会議は、月に一度消防局で開催し、検証医師約20名、健康局職員、消防署の救急救命士、救急課担当係長（救急検証）、救急指導担当が参加します。ここでは、毎回平均約120件の症例を詳細に検証し、救急活動と実施基準を確認します。

次に、救急救命士に対する生涯教育として症例検討会や集中講義などを実施しています。救急救命士は国のメディカルコントロール体制の定めにより、2年間で128時間の教育を受講する必要があります。救急指導担当では、令和4年度には12の医療機関を会場として、実際の症例について医師の指導の下、検討を行う症例検討会を開催するとともに、医師及び指導救命士を講師として、次のような集中講義を実施しました。

- ① 熱傷、一酸化炭素中毒、その他外因による傷病者の対応（5月24日）、
- ② 大阪市消防局の取組が世界を救う（9月21日）、
- ③ 気管挿管 基本手技について（12月5日）、
- ④ 爆傷等、テロへの対応（過去の事例から学ぶ）（9月6日）、
- ⑤ 感染防止及び質の高いCPRについて（3月23日）、

また、令和4年度に行われた大阪府下救急救命技術研修会では、大阪府下8メディカルコントロール圏域の指導救命士が中心となり地域の取組やコロナ禍のCPRについて発表しました。

最後に、令和5年1月26日から27日にかけて、広島県で開催された全国救急隊員シンポジウムについて報告します。このシンポジウムには当局から4名の職員が登壇。次の内容を発表しました。

- ① 大阪市内における新型コロナウイルス感染症への対応と今後の課題
- ② 大阪府下地域における心肺蘇生を望まない傷病者への対応の現状と課題について
- ③ コロナ禍がもたらした大阪市内における救急需要の変化
- ④ 病院救命士と消防署救命士の連携について



大阪府下救急救命技術研修会の様子

救急隊員の質の向上と、救急業務の充実強化を目指す 本部救急隊

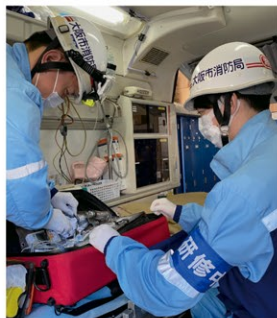
本部救急隊は、平成29年に救急課直轄の組織として創設されました。現在は、本部指導救急隊2隊と、本部機動救急隊2隊を運用しています。

本部指導救急隊は、安全で質の高い救急活動を目指し、さまざまな教育訓練を担当しています。その主な業務は、本部救急隊の指導救命士が主体となっていく座学研修、同乗研修、派遣研修、所属救急隊の運用制限を伴うOJT研修や集合形式で行う多数傷病者実動訓練などを企画立案し、救急活動の質の向上や高度な処置を行うことができる救命士の養成を通して、救急活動を組織的に支える体制を構築することです。また、今年度からは新たに、救急業務中のインシデント事案（アクシデントに至らなかったもの）を収集・検証し、迅速に安全管理に関する情報を救急ライブラリに掲載、発信するとともに、本部研修等に活用するなど、アクシデントの発生を未然に防ぐ風土醸成にも取り組んでいます。

本部機動救急隊は、多数傷病者発生事案（集団災害やNBC災害※等）及び広域災害（地震や風水害等）に優先的に出場し、災害対応力の強化を担う部隊です。多数傷病者発生事案では指揮支援隊として出場し、救急中隊長等の指揮活動を支援するとともに、活動後の検証を通じてより効率的かつ組織的な救急活動要領の構築に取り組みます。また、広域災害における緊急消防援助隊派遣の際には統合機動部隊に編成され、被災地での救急に関する情報収集や初期の救急活動を任務として活動します。

- ◆令和5年4月～6月に本部機動救急隊が出場した特異事案
 - 平野区スーパーマーケットでの傷害事案（4月9日）
 - 北区小松原町ビル火災事案（6月2日）
 - 東成区多重交通事故事案（6月14日）
 - 北区百貨店特殊災害事案（6月14日）

※NBC(災害・核 (nuclear)・生物 (biological)・化学物質 (chemical))による特殊災害の1つ



本部救急隊の同乗研修の様子



救急需要の増大多様化に対応 救急需要対策担当

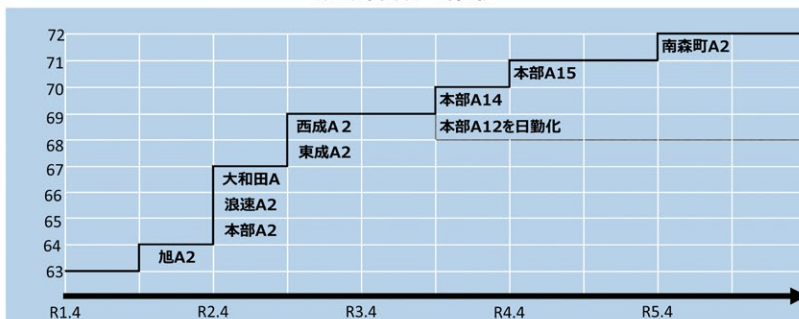
令和5年4月1日の組織改正により、新たに救急需要対策担当部長を設置し、名称も救急施策担当から救急需要対策担当と改めました。救急に対する需要は全国的にも一層増大と多様化の様相を呈しています。大阪市でも今後とも増え続けることが見込まれる救急需要に対して、これまでの取組を更に推し進めることに加え、総務省消防庁や、大阪府医療関係部局、医療機関等と連携した施策の推進が必要となつていきます。

救急需要対策担当では年間20万件を超える救急活動記録について現場到着時間や走行距離、搬送連絡回数や傷病名など様々なデータから、救急体制における課題を分析することにより、救急隊の増隊、梯子隊と乗り換えて運用している救急隊を各々単独で運用するとともに、適正配置、移動配備などの救急体制強化を図っています。

救急隊の増隊については大阪市の将来推計人口や救急要請率、救急隊の現場活動時間等から、令和7年度までを目標に必要とされる救急隊数を予測し進めています。配置署所に関しては、現場到着遅延エリアに本部救急隊を移動配備し検証するなど、増隊する隊の適正配置についても、データに基づいた効果のある署所への配置を行っています。

その他にも過去のデータを分析し、大阪マラソンなどの非常警備体制時における救急車の配置や、熱中症、年末年始など、環境の変化により救急需要の急増が予想される場合の増強救急隊の増隊・運用を検討し、救急ひっ迫時の救急体制強化にも努めています。

救急隊数の推移



令和5年度から新たに配置された救急車 (南森町第2救急隊)

応急手当実施率の向上で“いのち”を守る

24時間安全・安心を提供 救急安心センターおおさか

救命普及担当は、市民に対する予防救急や応急手当の普及啓発に関する業務、民間の患者等搬送事業の指導及び認定に関する業務などを担当しています。

応急手当や予防救急についてのホームページ「ボジョレ」に救急の救命ノート」を開設。胸骨圧迫の方法やAEDの使い方などは、アニメや動画により、大人も子供も楽しく学んでもらえるものとして掲載しています。その他、オンラインによる各種講習や申請の受付開始、救命講習の座学部分は、オンライン講習で受講できる仕組みを構築するなど、市民のニーズに沿った取組を実施しています。

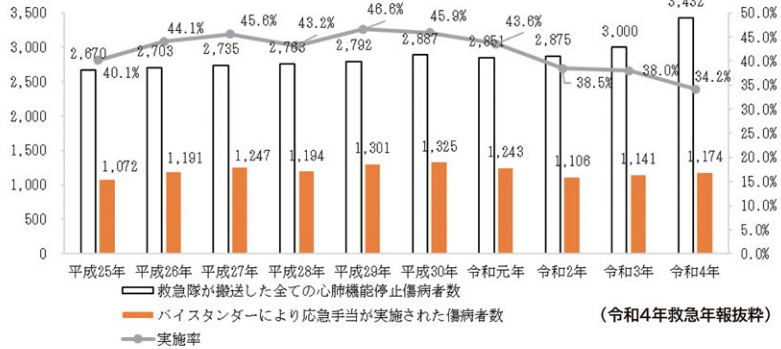
また、応急手当の普及啓発として、大阪市内の駅や商業施設の街頭ビジョンでの応急手当と予防救急に関する広報動画の放映をはじめ、YouTube・Twitter・Instagramでの情報発信、イベントへの参加など、様々な方法を展開しています。

近年、救命講習はコロナ禍の影響で中止・縮小せざるを得ず、受講者の減少もやむを得ない状況が続きました。状況が変化した今年度はその状況に反転攻勢をかけ、近年、低迷している応急手当の実施率の向上につなげていきたいと考えています。



屋外イベントでの応急手当体験の様子

応急手当実施数及び実施率の推移



救急安心センターおおさか(以下「当センター」という)は大阪府消防局の5階に設置されています。突然のケガや病気の症状に対し、救急車を呼ぶべきか、病院へ行くべきかなど、判断に困った時の電話相談に24時間365日対応しています。緊急性の高い症状の傷病者はできるだけ、自り早く救急車が到着できるように手配することに加え、自覚症状の乏しい潜在する重症者を救護し、府民が適切なタイミングで医療機関を受診出来るよう支援。一人でも多くの方に安全・安心を提供することを目的として活動しています。

当センターは、医師、看護師、監督員(消防職員)で運用しており、電話の受付当初から看護師が対応。相談者が訴える症状の緊急性や救急車の要否に関し、「電話救急医療相談プロトコル」に基づいて緊急性を判断し、適切な助言を行っています。相談者と看護師の通話は医師と監督員(消防職員)がモニターします。医師はモニターを通して看護師への助言や指導を行い、監督員(消防職員)は電話回線状況を始めた当センター内の管理監督を行います。

当センターの母体は、平成10年に大阪府消防局で設置した専用電話回線による「大阪府救急情報サービス」です。このサービスは大阪市内の救急病院を案内する電話窓口サービスです。しかし、非医療従事者である消防職員だけで運営するには、相談者が訴える症状からどの診療科目を案内すれば良いか判断に迷うなど、限界があります。一方で高齢化の進展に伴い救急件数が増加傾向にある中、病院に行くべきか迷っている住民が119番するといったケースが、救急件数の増加の一因にもなっていました。

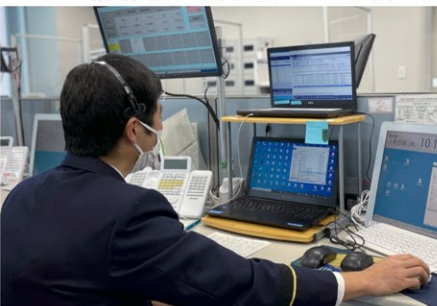
そこで、平成21年10月1日、総務省消防庁のモデル事業により大阪府域を対象に「大阪府救急安心センター」を開設。消防と医療が連携して救急医療に関する住民の不安に応える相談窓口を設置しました。

平成22年4月には大阪府内16市へ拡大し、名称も「救急安心センターおおさか」に改称。同年12月には大阪府内全域43市町村へと拡大し、現在、各市町村の管轄消防本部と共同で運営しています。

救急車を呼ぶ? 病院へ行く?

こんなときは「救急安心センターおおさか」へ

7119



監督員(消防職員)が通話内容や回線状況をモニターしている様子



市民の安全・安心を守るために必要な救急車台数は？ 大阪市消防局 救急隊が最大の効果を発揮するために

今月の「救急いろうは」では、大阪市消防局が配備する救急車の台数がどのように決められてきたかを紹介し、大阪市の救急体制の現在とこれからを解説します。

総務省消防庁が告示している「消防力の整備指針」では、市町村が火災の予防、警戒及び鎮圧、救急業務、人命の救助、災害応急対策その他の消防に関する事務を確実に遂行し、当該市町村の区域における消防の責任を十分に果たすために必要な施設及び人員について目標とすべき水準が示されています。

救急車の台数についても、その中に整備水準が示され、地域の実情に即した台数を整備することが求められています。

令和5年7月現在、大阪市消防局は、72台の救急車を配備しています。

大阪市消防局の救急車配備目標数の考え方を紹介し、救命への思いとともに、救急体制の強化についてお伝えします。



「消防力の整備指針」について

総務省消防庁「消防力の整備指針」では、消防本部又は署所に配置する救急車の数について、「人口10万以下の消防本部又は署所でおおむね人口2万ごとに1台、人口10万を超える消防本部又は署所では5台に人口10万を超える人数について、おおむね人口5万ごとに1台を加算した台数を基準として当該市町村の昼間人口、高齢化の状況、救急業務に係る出動の状況等を勘案した数とする」という内容が定められています。



●計算式
5台+(2,732,197(※)-100,000)(人)÷50,000(人)≒57.64(台)
※令和3.12末の住民基本台帳人口:2,732,197人

これに従って、右記の計算をすると、人口約276万6千人の大阪市の場合、58台ということになりますが、本市における救急業務に係る出動状況等を勘案すれば、当然ながら配備・運用する台数としては不足しています。

一般的に、心肺停止後5分を超えると、救命率が相当低くなると言われていています。総務省消防庁から公表されている「令和4年版 救急・救助の現況」では令和3年中の救急車の現場到着所要時間は全国平均で約9.4分とされています。

大阪市消防局では、市民の安全・安心を支える救急行政サービスの観点から、救急車による現場到着時間を短縮し、傷病者を少しでも早く病院へ搬送することを目指し、現在72台の救急車を運用しています。

他都市と比較した 大阪市の救急車出動状況

令和3年において、大阪市消防局の1隊あたり平均出動件数はなんと、3160件、東京消防庁と20の全政令指令都市の消防本部の中で一番多い件数となっています。

令和5年(2023年)現在、全国の「政令指定都市」の数は20となっています。東京都と、この20の政令指定都市について、令和3年の各政令指定都市の人口、救急隊数及び出動件数を表にする、次ページのようになります。

データを解析し 計画的に救急隊を増隊

先にも述べたように、大阪市消防局は救急隊の出動から現場到着までの時間が遅延することがないよう、救急車を配備しています。しかし、令和3年(2021年)は救急件数こそ若干減少したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、現場活動時間が長時間化したことにより、救急事案が発生した場所付近に救急車がなく、遠方から現場に向かうことが増え、現場到着時間の遅延傾向が認められました。

加えて、大阪市消防局の救急隊1隊あたりの出動件数が、他本部と比較してもトップレベルに多い状況にあるという現状は、救急隊員の労務管理の点でも大きな課題となっていました。

東京消防庁と各政令指定都市消防本部の人口、救急隊数及び出場件数

消防本部名	札幌市消防局	仙台市消防局	新潟市消防局	さいたま市消防局	千葉市消防局	東京消防庁	川崎市消防局	相模原市消防局	横浜市消防局	静岡市消防局	浜松市消防局
人口 (人)	1,973,288	1,097,190	788,294	1,324,589	975,964	13,918,952	1,538,133	725,514	3,776,286	872,709	789,924
救急隊数 (隊)	34	27	25	30	26	270	29	19	80	28	23
うち日勤救急隊数 (隊)	2	0	0	0	0	1	0	1	3	1	0
出場件数 (件)	101,201	52,002	37,832	66,440	55,564	743,703	69,883	35,847	204,427	38,510	35,002
一隊平均出場件数 (件)	2,977	1,926	1,513	2,215	2,137	2,754	2,410	1,887	2,555	1,375	1,522
消防本部名	名古屋市消防局	京都市消防局	大阪市消防局	堺市消防局	神戸市消防局	岡山市消防局	広島市消防局	北九州市消防局	福岡市消防局	熊本県消防局	
人口 (人)	2,331,761	1,462,579	2,754,893	889,021	1,524,104	719,081	1,273,989	938,072	1,613,976	773,584	
救急隊数 (隊)	45	32	69	25	33	21	41	23	31	26	
うち日勤救急隊数 (隊)	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	
年間出場件数 (件)	123,229	82,070	218,050	55,316	82,552	30,742	59,359	53,312	78,424	36,666	
一隊平均年間出場件数 (件)	2,738	2,565	3,160	2,213	2,502	1,464	1,448	2,318	2,530	1,410	

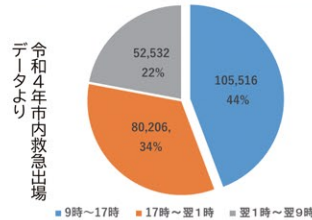
令和4年度版 消防現勢より(令和3年データ)
令和3年当時 大阪市消防局運用の救急車は69台

救急体制の強化

そのような状況をふまえ、令和4年度には、件数だけでは測れない一件一件の活動時間も考慮した指標(活動時間総和)を用い、あわせて大阪市の人口の将来予測、年齢層毎の救急要請率等を分析し、今後必要とされる救急隊数について検討を重ねました。

その結果、71隊(令和4年時点)に加え、令和7年度を目途に5隊の増隊が決定し、令和5年4月1日に南森町第2救急隊が増隊され、令和6年度には1隊の増隊を予定しています。令和7年度の増隊については、現場到着時間や救急需要を分析し、データに基づいたより効果のある配置箇所を検討しています。

令和4年 大阪市の時間別救急出動件数



令和4年度には増隊に加え、強化救急隊(以下、LA隊)の解消による救急隊の増隊や増強救急隊(以下、フレキシブル救急隊)の増隊など、更なる救急体制の強化にも踏み込んだ検討を行っています。

まず、LA隊の解消については、LA隊の増隊に増加する救急出場件数に対応することを目的に、平成17年から運用が開始され、現在4隊が運用されています。

しかし、一部事業を除いて救急隊としての出場が22時までと制限がある一方で、現状は22時以降の救急需要も少なくないことや、救急隊として出場している時間が長く、特殊車両である梯子隊と兼務することが難しいため、令和7年度までに4隊全てを解消し、それぞれ単独の救急隊と梯子隊として運用することが決まりました。

次にフレキシブル救急隊の増隊についてです。フレキシブル救急隊は、消火隊を一時的に救急隊として運用し、救急活動体制の強化を図ることを目的に平成28年度に4隊が創設されました。熱中症やインフルエンザ等の流行、大規模な催事等の開催など、救急需要の著しい増加が見込まれる場合や、救急需要が急激に増加した際に運用し、救急体制のひっ迫に備えました。しかしながら、令和4年の夏季には、新型コロナウイルス感染症の第7波と猛暑の到来が重なり、救急隊が枯渇し、フレキシブル救急隊の出場件数も大幅に増加しました。この

やむを得ず

ことを受け、令和4年9月から、救急隊の不足を補い、フレキシブル救急隊の運用署の負担も軽減するために4隊を増隊し、8隊体制となりました。

現在フレキシブル救急隊は1グループ4隊の2グループをローテーション制で運用することを基本としていますが、救急体制ひっ迫時には、グループに関わらず運用し、最大8隊のフレキシブル救急隊を運用することが可能です。加えてひっ迫状況によっては、運用時間を延長して、救急体制の強化を図ることができま

令和4年度冬季の新型コロナウイルス感染症第8波時には、フレキシブル救急隊を54日間運用し、1913件の救急事案に対応しました。そのうち14日間は、8隊全体を運用しており、その間の対応件数は704件と発生したこの数字は同期間発生した大阪市内の救急事案の約10%をカバーしたことになりました。

大阪市消防局 救急体制の強化計画(令和4年度～令和7年度)

R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
●浪速(出)	■南森町A2	●加島	★天王寺	■万代	※都島LA	■配置箇所検討中×3	★住之江
●加美		●加美				★東住吉	
●海道							
71隊 隔68日3		72隊 隔69日3		73隊 隔70日3		76隊 隔73日3	

救急体制強化 ■増隊 ●増強救急 ★LA解消 ※LA解消し、東三国へ配置転換

コロナ禍における救急隊の活動は、需要の増加に伴う連続出場のほか、搬送困難事案の増加による活動の長時間化など非常に過酷な状況でした。そんな状況においても、救急隊は市民の安全・安心を守るべく、救急業務にあたりました。

高齢化の進展や環境及び生活様式の変化などを背景として、全国にも救急需要は一層増大、多様化しています。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、完全に影響がなくなったわけではなく、今後も新型コロナウイルス感染症とは別の新たな感染症等が流行する可能性もあります。

大阪市消防局は、そうした社会の情勢を見据えながら、データを分析し検証・検討を継続していくことで、今後高まる救急需要に対応し得る救急体制の強化を効果的に進めていきます。

突撃取材!

ウチの署は、こんな訓練やってます!

このコーナーは、各署所で実施しているさまざまな訓練の様子を広報担当が突撃取材!! 「ウチの署は、訓練スペースに限りがあるから…」 「ウチの行政区は河川が多いから…」など、署所で創意工夫した訓練の様子をお伝えします!
第26回は、西成消防署救急隊の「PA連携活動」について紹介します!

今回、訓練を紹介してくれるのはこの人!



消防司令補
岸本 好司

大阪市では毎年20万件以上という膨大な数の救急出場があります。中でも西成区は救急需要が非常に高く、西成消防署には5台の救急車が配置されています。区内の救急件数は令和4年中19,544件と、大阪市内でもトップの件数です。それだけの件数がありますから、最も急を要する心肺停止事案も多数潜んでいます。

大阪市消防局では、そうした心肺停止事案に対し、救命率向上を目的として平成29年から「PA連携活動」を導入しました。PA連携活動とは、心肺停止傷病者の救急事案に対して消火隊を同時出場させ、いち早い応急処置や、救急隊の活動支援を行うものです。

先述のように西成区では多数の心肺停止事案が発生しています。西成消防署でのPA連携活動として消火隊が出場する件数は年間800件程度であり、高い水準となっています。そのような地域特性を鑑み、西成消防署では、日々、より組織的で効率の良い活動が行えるよう訓練しています。また西成消防署に勤務する救急救命士にPA連携についてのアンケートも実施しました。今回はその中身をのぞいていきましょう。

西成消防署におけるPA連携活動の3つの柱

①
良質な
CPR

②
特定行為
の補助

③
情報収集

PA連携活動の主な3つの柱、それぞれの項目に注目していきます。

①良質なCPR(胸骨圧迫と人工呼吸)

人数が多ければ、それだけ交代要員や、CPRに専念できる人的資源が増加します。それによって、接触当初から搬送開始まで良質なCPRを継続します。もちろん良質な胸骨圧迫と人工呼吸ができるよう、隊員同士指摘し合いながら訓練を行います。

西成消防署救急隊員へのアンケートでは、96%がPA連携のおかげで良質なCPRができていると回答しています。また西成消防署では5年連続で新任救急救命士が誕生しています。その新任救急救命士が養成課程で得た、最新かつ最高のCPRを消防署に還元しています。



② 特定行為の補助

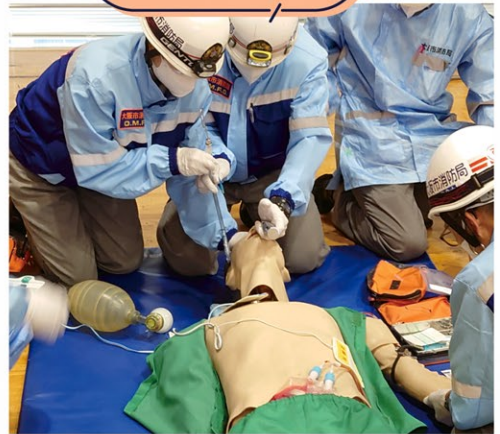
特定行為とは、本来医師が行う医療行為の一部を救急救命士が病院到着前に行うことで、蘇生率を向上させようというものです。この特定行為には高度な知識と技術が求められますし、実施には時間も要します。そこで消防隊員がこの特定行為を補助することで、所要時間を短縮し、実施率を向上させていくことが狙いです。

西成消防署の心肺停止事案に消防隊が出場した場合と、出場していない場合のデータを抽出し比較したところ、前者の方が特定行為の実施率は7%程度高いことがわかりました。

西成消防署でのアンケートでも、87%が特定行為がスムーズに行えると回答し、同じく87%が早期搬送開始につながっていると考えています。PA連携活動によって早い段階で特定行為を行うことができ、更には病院搬送開始までの時間が短縮されとなれば、1分1秒を争う救急現場で有効に機能していることは言うまでもありません。



声門確認
コーマックグレード1



③ 情報収集

救急隊が病院搬送を開始するには、傷病者の年齢性別、現在の状況、氏名や持病など、多くの情報を病院に電話で伝える必要があります。その情報を家族などから聞き出し、電話で伝えようとすると、どうしても救急隊員1人分の処置の手が奪われてしまいます。そのため必要情報を消防隊員が聞き出し、並行して電話で状況を医師に伝えることで、搬送先決定が早くなり、電話していた救急隊員が早期に救命処置に参加できるようになります。アンケートでも91%が情報収集をスムーズに行えると回答しています。

もちろん消防隊員には救急隊経験がほとんど無い隊員もいますので、どのような情報が必要なのか日々の訓練で救急隊が指導しています。

倒れた瞬間は
目撃されましたか？



関係者役

まとめ

以上のように、PA連携活動を効率よく行うことは、救命にとって大変重要であると考えています。

西成消防署勤務の救急救命士へのアンケートでも、回答が得られた救命士の100%が救命率向上にPA連携活動隊は必要な存在だと回答しています。しかしながら、消防隊員が自身の専門でない救急活動を支援する、救急隊と消防隊が救急現場で互いに連携するという事は想像以上に困難です。困難ではありますが、救命率の向上に繋がると感じる以上、訓練は怠りません。小隊として個人として、日々訓練を重ね、1人でも多くの命を救うことを目指します。

正機関員への道

災害が発生すれば、いち早く、安全確実に駆け付ける消防車両。鼓動が高まる車中で、常に冷静沈着に運転する『機関員』。そんな消防車両の運転に従事する『機関員』は、日頃からの出場経路の研鑽はもろろんのこと、いち早く現場に駆け付けるまでのこだわりがたくさん！
このコンテンツでは、そんな『機関員ならでは』のこだわりをご紹介します！

こだわり1 ～出場準備編～

住之江LC A小隊は梯子車、化学車、救急車の3台を運用しています。3台を乗り換え運用しており、救急車は22時から朝の9時までは重症事案のみの出場となっております。

出場指令がかかれば、指令書や受付前の地図で走行経路を確認し、車両周囲の安全確認、輪止めやANSIN(消防情報システム)のコードの解除を確認し車両に乗車します。

救急出場ではANSINにて災害点の詳細な確認を再度行い、化学車や梯子車の大型車両の災害出場では、狹隘道路や高架道路の走行可否の確認や、梯子や化学車の部署位置を考慮した走行経路を小隊長や隊員と確認しながら決定します。

災害出場で際しては、隊員間で共通の認識を持つことが交通事故の防止やその後の活動に役立つと考えています。



受付前の地図

氏名	中林 大介	マイソクルーフ	教子
所属	住之江消防署		
小隊	住之江LC A小隊		
H20.10	採用		
H21. 3	都島消防署		
H24. 4	此花消防署		
H30. 4	住之江消防署(現:LC A小隊)		



こだわり2 ～緊急執行編～

緊急執行時は一般走行時にも増して安全運転を心掛けていきます。自動車の運転は不測の事態がつきもので、緊急執行ではそのリスクは高まります。スピードの出し過ぎや『急』のつく運転は出来る限り控え、隊員間で協力して安全確認を行い、コメントリードドライブで次の動作をその都度隊長と隊員に共有するようにしています。

急がば回れといいますが、事故を起こしてしまえば災害現場に到着することすらできません。

また、梯子車と化学車は大型車で死角も多く、スピードを出しすぎると急には止まれないので、救急車の出場時よりもさらに安全運転を心掛ける必要があります。乗組員全員で確認し合うことで事故防止に努めています。



一般走行時からコメントリードドライブを習慣化し隊員間の意思の疎通を行い、複数の目で危険を察知し安全に運行できるよう努めています。

誰かが危険に気付くことができれば事故を未然に防ぐことができます。

小隊長の役割も重要

今月の 交通事故防止基準

小隊長の乗車位置

小隊長は、車両前部左座席に乗車すること。ただし、救急用自動車にあってはこの限りではない。



こだわり3 ～一般走行編～

機関員として仕事ではもとより、私生活でも車の運転の際には常に安全運転を心がけています。機関員は車両の運行中、隊員や傷病者の命を預かっていますので、その自覚と責任を持つことが大切だと思います。普段の運転がそのまま機関業務としての運転につながると思いますので、自らの運転を常に見つめ直す姿勢を忘れないようにしています。

機関員に聞く！

住之江管内は幹線道路、高架道路、駅や踏切などに加え、港湾地区からのコンテナを積んだ大型トラックの交通も多く、さらには住宅密集地など狹隘道路も多いので多様な危険があります。個人的には日頃からリスクの高い運転をしないよう心掛けています。例えば、狭い曲がり道で一回で曲がれるかどうか不安があるのなら無理をせず、切り返すことなどです。不要なリスクを取って一度で曲がる必要はありません。緊急執行に限らず、車の運転は常に予期せぬ危険と隣り合わせであるということを肝に銘じています。

住之江区、ここに注意しーや！



リスクファクターを知る

建物から 褐色の濃煙が 噴出していないか？

#13

(フラッシュオーバー、バックドラフト等)
 室内に煙が逆流するような強い吸い込みはないか

『13』これは、昨年度災害現場で負傷した隊員の数字です。幸いにも、そのほとんどが命に別状のない事故でしたが、小さな事故をないがしろにすれば、必ず大きな事故に繋がります。昨年に運用を開始した安全管理隊が災害現場で察知した「危険因子」を皆さんに伝え、隊員の皆さんが自らを守るために必要なノウハウを、写真や動画、活動指針を交えてご紹介します。リスクファクターを知ることによって職員負傷『0』の目標を達成させましょう。

*警防活動マニュアル小隊活動編～第14章 安全管理～
【第2節 警防活動における安全対策】「5 急激な燃焼拡大と吹き返しによる煙熱危険」参照





訓練用水消火器を使用した消火訓練



あべのタスカル運営管理を受託



消防制服レンタル



イベントなどのノベルティで人気のハンドタオル
© 1976,2017 SANRIO CO.,LTD.
TOKYO,JAPAN © 著作 (株)サンリオ



応急手当の普及講習



自主防災指導

全国の消防関係者をサポート

ともに安全なまちづくりをめざす  一般財団法人 大阪消防振興協会



一般財団法人 大阪消防振興協会
〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-24-18
大阪市 西消防署 江戸堀出張所の5～10階に所在
TEL : 06-6459-1500
FAX : 06-6459-1458

一般財団法人 大阪消防振興協会は、大阪府域で防災や救急の知識を広め、そこで活動する人々の災害レジリエンス（災害などのリスクに対する対応力や災害を乗り越える力）を高めるための組織として活動しています。消防・防災の知識・技術を広める活動を柱に、府内に限らず全国の消防関係者の役に立つ活動で、現在は北海道から沖縄まで、日本中の消防関係者に知られる存在となりました。

消防法に定める各種講習会や応急手当に関する講習会、自主防災、自衛消防訓練の指導やアドバイス、大阪市立阿倍野防災センター（あべのタスカル）の運営管理のほか、消防制服の貸し出しや防災グッズの販売など、様々な活動を行う財団法人である大阪消防振興協会に、消防関係者に役立つ情報を伺ってみました。

消防関係者を応援するために
できるだけのことをしたい

常務理事 松本昌二氏

「大阪消防振興協会の活動について教えてください」

「安全なまち」は、消防局や消防関係者だけでつくりあげることではできません」という常務理事の松本氏。それは大阪市民約280万人、府民約880万人、全員が関わって初めて作り上げることが出来るものだと思います。

しかし、それだけの数の市民、府民に、防災や救急の知識・行動を広めていくには、実際に消防活動、救急活動を担っている消防職員だけでは無理というものです。

「大阪消防振興協会はそのような消防局と消防関係者を応援するために、時代に応じ変化を恐れず、消防関係者が誇りを感じることができたり、また、単に便利であるというだけのことであっても、消防の力になれることなら小さなことでも、できることからやっていきたいと考えています」

全国の消防関係者から感謝される消防制服のレンタル事業

事業担当課長 林田純人氏

「今、特に消防関係者にお勧めしたいサービスを教えてください」

「消防制服のレンタルは、細やかな気遣いの必要なサービスですが、全国の消防関係者から感謝の手紙が届くものとなっています。大阪府に限らず、全国の消防関係者に利用いただけるので、家庭用の防災グッズとともに消防関係者に広く知ってほしいと思います」



全国より要望が集まる消防制服のレンタル事業
子供用の消防服も用意されており、消防のイベントのほか、結婚式のリングボーイ用にも人気

やりがいは、消防関係者とそのご家族からの感謝 手作りのきめ細かい対応を心がける

担当者 三田 詩子氏

「消防関係者のレンタルサービスについて教えてください」

「消防関係者のレンタルサービスは全国の消防職員や消防団員の方に消防制服を貸し出すサービスで、現在、黒色（ブラック）、紺色（ネイビー）、白色（ホワイト）の3つのスタイルを用意しています」



上 全国から届いた感謝のメッセージ
右上 肩章やモールを手入れする三田氏
右 レンタルの制服黒色（ブラック）、紺色（ネイビー）、白色（ホワイト）の3色
左 サイズもY4から特許まで幅広く揃えられている。礼帽も入念にチェックを行う

「北は北海道から南は沖縄の宮古島まで、年間約350件に及ぶお客様にご利用いただいています。結婚式はもちろん、退職記念や叙勲のお祝い、また子供さんの消防服は、消防のイベントや保育園のハロウィンにもご利用いただきました。」

「このサービスは、お客様も初めての方ばかりですので、緊張もあるなか、いつも丁寧なコミュニケーションを心がけ、お客様の立場に立つてご要望を聞きだしつつ、的確にお応えするように心がけています。また、ご依頼いただいたお客様は、唯一無二の大切な日に着用されます。美しい状態で正しいサイズのもの、ご指定日にご指定の場所に確実に届くよう、細かく気を遣ってチェックしています。」

「結婚式で祖母が涙を流して喜んでくれた。人生で初めてかっこいいと言われた。二生残る思い出を本当にありがとうございます。」など、全国から寄せられる感謝のメッセージを見ると、本当に嬉しく、やりがいを感じるという三田氏。



11月に結婚式を控え、試着に訪れたカップルとの打ち合わせ



消防婚礼ウェルカムセットのレンタルも実施。2体のペアは消防や救急の制服など、6種の中から選ぶことができる。

消防婚礼ウェルカムセットにサービスで含まれるメッセージカードや水引などは手作りのオリジナル



消防制服貸し出しのご案内

消防人にご勧めしたい 「家族への備え」

物販担当係長 渡辺 雅久氏

消防関係者のレンタルに次いで、消防関係者にお勧めしたいとして挙げられたのは、家庭用の防災グッズでした。

「消防関係者は災害時、家にいないんです」と渡辺氏。紺屋の白袴、医者ではまるのといふのは、消防人にも一度災害となると消防活動に赴かねばならないのが、消防人です。場合によっては消防緊急援助隊として長期の活動を行う場合もあり得ます。

「大切な家族のために、消防関係者こそ、家に防災用品を備えてほしい。その時、自分が出動かもしれないから頼むな、と家族に話し、家族を大切にする消防人であってほしい」と話しました。



ファイアファイターズ ジョブ

一推しの防災グッズ

防災ラジオ
(スマートフォン充電機能及びLED懐中電灯付)



防寒断熱用リバーシブルアルミブランケット
金色面を外側にすると保温効果、銀色面を外側にすると断熱効果あり

警防技術練成会最優秀署

に聞きました！

ウチ
〇〇署は、こんな訓練やってました！

このコーナーは、各署所で実施しているさまざまな訓練の様子を広報担当が突撃取材！！番外編の今回は、浪速消防署による「～最優秀への道～」をお伝えします。

今回、浪速消防署を紹介してくれるのはこの人！



2年越しの最優秀！！

遡ること2年前、私はマネージャーとして選手をサポートする形で警防技術練成会に参加しました。下馬評は高かったものの、本番はいつもどおりの訓練が出来ず、結果はタイムオーバー。非常に悔しい経験をしました。この悔しさを忘れず「2年後のSTPで自署を必ず最優秀に導く！」と決意し、改善点を徹底的に洗い出した「最優秀への道」を立て、本練成会に向け実行し、最優秀を獲得することが出来ました。その中でも特に手ごたえを感じた3点についてお話しさせていただきます。

① 若手がノビノビと訓練できる環境づくり

某方面隊S係長からの「1番若い隊員が自由に意見を言え、ノビノビと訓練できているチームは強い」というアドバイスを受け、若手が訓練しやすい環境を整えるようにしました。具体的には「否定しない・失敗を恐れさせない・見守る」の3点を意識して取り組みました。失敗しても「訓練で失敗出来て良かったな！」と失敗を好機と捉える指導を心掛け、同じ失敗を繰り返さないためにはどうすべきかを自分で考えさせるようにしました。結果、自ら考える力が付いて主体的に訓練に取り組むようになり、目まぐるしく成長を遂げていきました。その姿が先輩隊員に刺激を与え、浪速消防署の原動力となりました。



② 緻密な訓練計画と訓練時間の使い方

最優秀を目標に掲げ、目標から逆算して訓練の計画を立て、具体的に・いつまでに・自分たちがどの地点に到達すべきかを明確にしました。そのために訓練後に全隊集まってミーティングを実施し、中隊としての課題と小隊としての課題の共有を図りました。その上で、訓練時間を日中の訓練時間とその他の訓練時間に区別し、日中については、全隊が揃う貴重な時間であるため中隊の課題、その他の訓練時間については、小隊・個人の課題の克服に取り組みました。当たり前のことですが、明確な目標を立てて、時間を有効活用することの重要性を再認識しました。



③ より多くの人に操法を見てもらい応援されるチームに

とにかく多くの人に操法を見てもらい、アドバイスをいただきました。自分たちでは考えつかないことや、細かい部分までアドバイスをいただき、まずは全部試してみました。その上で、メリット・デメリットを考え、操法を練り上げていきました。また「アドバイスをお願いします」と積極的に声掛けをすることにより、訓練を気に掛けて見てもらえるようになるため、結果的に周りから応援されるチーム作りも並行して行うことができたと感じます。周りの協力無くして訓練出来ず！多くの人にサポートしてもらったことが、今回の結果に繋がったのだと強く感じました。

浪速中隊のここが自慢



- 其の一．棟梁の充実。細かい部分まで施設を忠実に再現!!
- 其の二．「勝利の女神」全署で唯一の女性隊長、丸山司令。
- 其の三．強力なスポンサーの存在！（救急課H係副課長）
- 其の四．1日15本以上の50mダッシュで鍛え抜いた、副署長のダッシュユカ!!
- 其の五．操法のタイムを支えた「中継隊機関員」！消火栓部署した数は日本イチ!!
- 其の六．中継隊の阿吽の呼吸のホース延長!!
- 其の七．どのタイミングでも届けます！神出鬼没の中継受水完了報告おじさん。
- 其の八．GM（ジェネラルマネージャー）を中心とした支援の充実！
- 其の九．チームワーク!! 反対部・日勤含めた、署としての一体感!!

各隊長に一問一答！

中隊長 中川副署長に質問！

Q1. ここだけの話、中隊長の苦労話教えてください！

A1. 消火隊の活動に合わせて、如何に無線を入れるかが最大の課題でした。操法が早くなればなるほど無線を入れるタイミングはよりシビアになりますし、操法も毎当務のように修正されていきますので、無線の練習は暇を見つけて常に行っていました。その練習は家庭にまでおよび、おかげで家族から気味悪がられることもありました(笑)

Q2. 指揮本部長として心掛けていたことはありますか？

A2. 操法を検討する上で、実火災であればどうするかという視点は常に意識していました。最後はタイムが勝敗を分ける操法ですので、隊員にとっては決して小さくない課題でしたが、見事にやってのけてくれました！

Q3. 着任後すぐの最優秀獲得!!何か一言どうぞ(笑)

A3. 嬉しいというよりも、ほっとしたと言うのが率直な感想です。
栄誉ある賞に恥じないよう署員一丸となり、より一層精進して参りたいと思います!!

実に当たり障りのない答え、ありがとうございました!!(笑)



直近隊隊長 丸山司令に質問！

Q1. 初の女性隊長の出場、やはりプレッシャーは感じましたか？

A1. 当然不安や緊張はありましたが、「為せば成る!」という気持ちで、自分とチームを信じて訓練に取り組みました。

Q2. 実は2回目の最優秀ですよ?何か秘訣はありますか？

A2. そんな秘訣があれば、教えて欲しいぐらいです...。
秘訣ではないですが、訓練がつらく苦しい時でも、楽しんで訓練に取り組むように心掛けていました。

Q3. 出場することに不安を感じている女性隊員もいると思います。何かアドバイスをお願いします。

A3. 出場できる機会は限られていて、男女問わず狭き門です。もし、機会がめぐってきた時はチャンスだと思って、思い切って手を挙げてみてください。きっと得難い経験になります!!!

中継隊隊長 木村司令補に質問！

Q1. 全署で一番若い小隊長だと思いますが、心掛けていたことはありますか？

A1. 隊員と年齢が近いので、何でも言い合える関係の構築は常に意識していました。また、自分自身隊員と遜色ないぐらい身体も動くので、一緒に汗をかき、しんどいことを共に乗り切ろう！という気持ちで取り組んでいました。

ただ、良いことばかりではなく、不甲斐ないことに、知識・経験が浅く、隊員に負担を掛けてしまうことも多々ありました。諸先輩方に知恵を借り、支えられ、助けられながら何とか形にすることができました。

Q2. これからどんどん若い隊長が出てくると思いますが、アドバイスはありますか？

A2. ベテラン隊長のような「The 隊長！」のような動きはできないと思います。一人で抱えこまず、周りの先輩の力をお借りすることが大切かなと思います。周りを見渡すと、いつでも助けてくれる「カッコイイ兄貴たち」が居ます！！私的には、先輩の助けをいただきながら、ガンガン訓練して背中で引っ張っていくことが、若い隊長に求められていることかなと思います。



最後に、浪速中川中隊に質問！

ズバリ！STPの魅力とは？

個人の手だけでは、結果が出ないところです。

各小隊・中隊、そして消防署が一つになって訓練に臨むことで、署の絆が深まり、何事にも「強い消防署」になれることだと思います。



震災対策

一丁目一番地

近い将来、発生が予想される、南海トラフ大地震や上町断層帯地震。令和5年度消防局運営方針に掲げる「大規模災害への対応力の強化」は、まさに「消防局一丁目一番地」。
このコーナーでは、市民の皆さまと一丸となって取り組む、各署の震災対策についてご紹介いたします。

震災実務担当者



消防司令補 栗崎 大地
消防司令補 落 大心

港区は大阪市の西部に位置する東西に細長い形をした人口約8万人の行政区で、北側には安治川、南側は尻無川に挟まれ、大阪港を擁する海の玄関口に位置しています。

南海トラフ大地震が発生した場合は、港区のほぼ全域が津波により浸水する予想になっており、最悪の想定では津波による死者数が約1万人と予測されています。(早期避難率が低い場合)

港消防署



はじめに

阪神淡路大震災から27年、また東日本大震災から12年が経過し、甚大な被害からの復興が進んできています。ただ、復興が進むにつれ震災の記憶が風化し震災対策への関心が薄れてくる傾向があります。
しかし、熊本地震や大阪北部地震、直近では石川県で震度6強の地震が発生しています。消防組織として率先して震災に備え、常に災害対応能力の向上に努めるため、当署では、「港消防署震災対策推進チーム」を結成し次のような活動を行っています。

港消防署 震災対策推進 チーム

【発足理由】

当署の震災対策推進チームは「震災対策推進チーム」を組織し課題の抽出及び、効果検証を年間通じ実施し現行の港消防署震災計画をより実災害に即したものに改変するとともに、職員一人ひとりが震災計画を深く理解することにより、災害対応能力を向上させる。」ことを目標とし、令和4年度大阪市消防局重点目標の一つであった「大規模災害への対応力の強化」に基づき、港消防署震災対策推進計画の一環として発足しました。

現在は、署長と各副署長をチームリーダーとし、各司令と消防担当の各小隊ごと、そして日勤の調査班、補給班からの代表者23名で構成されています。

【活動内容】

目標を達成するため、当署ではPDCAサイクルを構築し、次のような活動を行っています。

まずは、年度初めに、港消防署震災対策推進チーム会議(以後、「PT会議」という)を開催し、年間のスケジュールを決定します。そのスケジュールに基づき、震災訓練を計画し実行、そして訓練実施後にはPT会議を開き、問題点の抽出や改善点等の検討を行います。また、録画した訓練風景を活用し、訓練実施後の振り返りにより、両部で考えをすり合わせ、大規模災害への対応力強化を目指しています。

D 訓練

毎月1回 日勤者も含め

C PT会議

各班代表者を決めて

P 計画

当署では、独自のPDCAサイクルに則り、毎月1回震災訓練を実施しています。毎月実施する理由としては、当局の年間計画に基づく震災総合訓練は、実施回数に関係から、参加する職員が限られ、習熟度に個人差が生じるためです。そこで、毎月訓練を実施することにより、震災への備えを習慣化し、職員の習熟度を上げ消防署全体として共通認識を持ち、誰が加わっても同じ活動が行えることを目指しました。その結果、署員全員が震災マニュアルを熟知することに至り、このことが目標である「大規模災害への対応力の強化」に繋がっていくものと考えます。

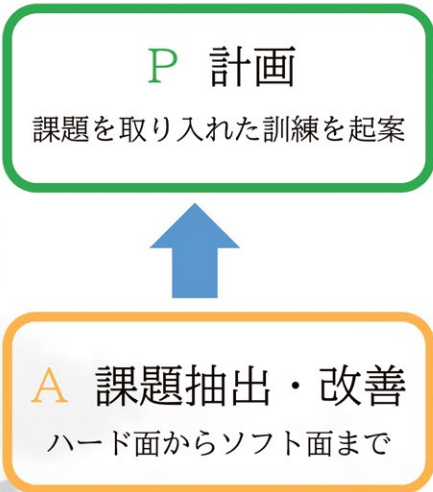
D 訓練内容

毎月の訓練では、主にマニュアルに沿った大隊本部運用の訓練を実施しています。それ以外にも、事案管理、招集管理等ポイントを絞った部分訓練も実施しています。また、訓練を実施する上で訓練風景をビデオ撮影し、その動画を庁内ポータル上のアプリで共有することで休務により訓練に参加できなかった職員にも震災訓練を疑似体験できる場を設けています。さらには、2回目に行う訓練（反対部の訓練）に参加する職員は、予め1回目の訓練動画で予習したうえで臨むことから、より高い理解度を得ることが期待できます。

また、大規模災害時は、日勤の職員も様々な活動に従事しますので、合同で訓練を実施し、消防署全体としての活動の強化を図っています。

C PT会議

毎月開催しているPT会議では、訓練の振り返りや、課題抽出だけでなく、調査班や補給班が取り組んでいる震災対策に関する進捗状況の報告も行っています。それらの内容を協議していき、当署の震災対策の強化を目指すべく、震災マニュアルをより実践的なものに



動画アプリ「stream」にて配信

改正していききます。そして、PT会議で議論した内容は全職員へフィードバックし、消防署全体で震災対策への課題や次回のPT会議の議題を共有し、全員が当事者意識を持つことで、港消防署一丸となった震災対策に取り組んでいます。

A 課題抽出・改善

震災訓練実施後、その結果や各担当の活動進捗状況をPT会議で議論、そこで浮かび上がった課題を抽出し今後の震災対策に繋げていきます。

実績と今後の課題について

港区は湾岸署であるため、津波襲来時の浸水想定エリア内における限られた時間での活動や退避場所等のマニュアル化、また活動が長期化するに当たり、活動拠点となる消防署の基盤を守る補給班や、各関係機関との連絡調整を図る調査班との連携の強化など、まだまだ議論する余地があると考えています。

令和4年度から運用を開始した震災対策推進チームは、PDCAサイクルを繰り返して行く中で、ソフト面とハード面と様々なことを改良し、築きあげました。大隊本部運用では手書き指令書を一新。覚知から事案終了までをパターン別にフローチャート化し、

事案管理体制を強化しました。また、参集者管理や警防情報、動態管理で使用するボードはフォーマットを一新し、簡素化したことでより容易に、かつスピーディーに記入できるようアップグレードしました。調査班は、近隣の大手ホテルとの発災時における施設使用に関する協定を締結。また補給班は、食料や物資の調達に関し、管内にある大型スーパーとの協定締結に向け、現在調整中です。

令和5年度の最大の目標は、ズバリ…

『震災マニュアルの動画化』です。

時は令和。紙ベースの震災マニュアルに代わって、映像と音声で手軽に見やすく、クリック一つで若年層にも自分の活動イメージが付きやすく、全体の流れもつかみやすい。それが動画マニュアルです。

最後になりますが、災害が起こる前段階、それは今です。震災について関心を持ち、日頃から少しでも疑問や課題、そして情勢や時代に応じた進化を考えること。その積み重ねが大阪市消防局全体の大幅な震災への対応力の強化に繋がっていくはず。オール大消で目標の実現に向かって取り組んでいきます。



てーやん

電気火災の基礎知識については、今月号で最後になるよ。しっかり理解して火災調査活動に役立てて欲しいな。

接触不良

経年劣化などでスイッチの接点やコンセントの受け刃、電源プラグの差し刃の表面に生じる凹凸(ざらつき)や差し刃の変形による接触面積の減少や、電気配線の素人配線による不完全な接続などが原因で、電気の通り道が通常より狭くなり当該箇所の抵抗値が増加し大きなジュール熱が発生することで出火に至る。(※電流値は正常のためブレーカーは落ちない。)電流が流れていないと発熱することはないため、**電気製品を使用している時に発生する。**



受け刃表面の凹凸



差し刃の変形



ねじり接続

消費電力が小さい電気製品の場合は、発生するジュール熱も小さくなるため出火に至る可能性も低くなるよ。つまり、火災調査の現場ではどのような電気製品を使用中に出火したのかを確認することが大事なんだ!



Check Point

接触不良の特徴
コンセントで発生した場合は、差し刃の片側のみが溶融、溶断する場合や受け刃の片側が焼損している場合が多い。



片側のみ溶融



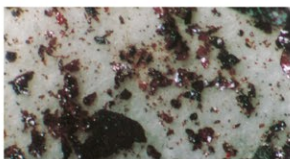
片側のみ焼損

両方の差し刃が溶断することが多いトラッキングとの違いに注意ですね!!



接触不良による出火が疑われた場合は、そこに**亜酸化銅**が生成されている可能性があるかもしれんで!!
さらに知りたい人は「調べて、広めて、市民を守る(No.85)」を見てや!!

亜酸化銅増殖発熱現象



亜酸化銅の顕微鏡撮影
(ルビーに似たガラス状の結晶)

銅製の導体が接触不良により高温のスパークが発生した場合、銅の一部が酸化して亜酸化銅となり、その部分が異常に発熱しながら徐々に拡大して火災の原因となる現象。

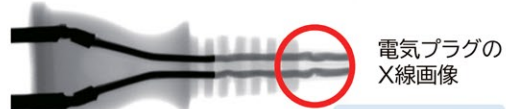
亜酸化銅は電気抵抗が大きいため一旦これが生成されると、局部的に非常に高温のジュール熱が発生し、この熱によってさらに周囲の銅を酸化させ亜酸化銅は自己増殖しながら発熱を促進させ、ついには伝導熱により直近の可燃物を発火させる。



半断線

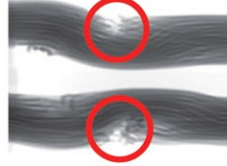
人や家具による踏みつけや過度な折り曲げなどにより、電気配線内部の素線が部分的に断線していくことで、電気の通り道が通常より狭くなり当該箇所の抵抗値が増加し大きなジュール熱が発生することで出火に至る。

電気が流れていないと発熱することはないため、接触不良と同じで、電気製品を使用中の時に発生する。



電気プラグのX線画像

半断線の場合、電流値は正常のためブレーカーは落ちないよ。



2箇所で半断線

ただし…



素線が断線し、絶縁被覆内で断続を繰り返す場合、素線が離着するたびに火花を発するんだ。この火花により絶縁被覆の内部表面にグラファイトが生成され、グラファイトに微小電流が流れてグラファイトが増殖、次第に線間の絶縁も低下し、最終的には線間で短絡することが多いよ。この場合グラファイト化がある程度進むまでは電気製品の使用が関係しているけど、それ以降は電気製品の使用の有無にかかわらず出火するんだ。

配線被覆内でトラッキング現象が発生するイメージですね!!



過負荷・過電流

電気配線に使用できる容量以上の電流が流れることで発熱し出火に至る。

ブレーカーが落ちることも多いが、その前に配線被覆が溶融し短絡することで火災に至る。

電気が流れていないと発熱することはないため、電気製品を使用中の時にのみ発生する。

配線全体が発熱するため配線被覆が広く溶融した場合は短絡痕が複数箇所に確認されることがある。

配線を束ねて使用したことにより火災に至る場合がある。



束ね配線



電気火災の発生要因には様々な経過があるんですね。経過ごとの特徴(電気製品を使用中でなければ発生しない等)をしっかりと把握して、どの経過の可能性が高いのか判断することが大事ですね。

電気火災の基礎知識について理解できたかな？

7月号でもお話ししたように、電気関係の火災は火災件数全体の約25%を占めている(令和4年)ことから、火災調査に携わるにあたって電気火災の基本を理解していないと調査活動を行ううえで困難も多いと思うからこの内容を紹介したんだ。紹介した内容は基本的な部分なので、興味のある人は電気火災についての文献等を参考にして、より知識を深めていって欲しいな。

そして、これから火災調査に初めて携わる人達はまず、電気火災の基礎知識をしっかりと理解してもらい、その結果、火災調査業務が円滑に進められるようになれば嬉しいな!!



「電気を制する者は火災調査を制する」

ぼうさい ぴり

今月も、あなたの「防災」の知識や技術を少しアップデートする、栄養の一粒をお届けします。

「マイタイムライン」という言葉を聞いたことがありますか？

マイタイムラインとは、災害についての知識を学びながら、実際に災害が発生した場合どのように行動すべきかを時系列で考え、決めておくものです。災害に備え、みなさまのご家庭で一度作成してみたいかがでしょうか。ここでは、マイタイムラインの作成のポイントをお伝えします。

マイタイムライン作成の3つのポイント

マイタイムラインの作成には以下の3つのポイントを軸に考えます。

①どのタイミングで ②だれが ③なにをする

例えば、「台風が発生する1日前、お父さんが、ベランダの物干し竿を取り込む」のように考えていきます。どのタイミングで、誰が、どのような行動を取るのかを、家族内で話し合い決定しておけば、自然と連携を取ることができます。

マイタイムライン作成の4手順

STEP1
被害予測の
確認

01

まずすべきことは、自宅周辺の被害予測の確認です。台風などが発生した際の浸水深や浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域などをハザードマップで確認しておきます。

STEP2
情報収集の手段を確認

02

続いて、災害時にどういった手段で情報を収集するかを決めます。

STEP3
避難時の行動を
家族で確認

03

危険な場所を把握すること、情報収集手段を明らかにすることができたら、家族のそれぞれがどういった行動をとるのか話し合います。その際、家族全員が自宅で揃っている場合や仕事や学校などでバラバラで過ごしている場合など、様々なシチュエーションを想定して話し合います。

また、災害の程度によっても様々なパターンを考えておいてください。

STEP4
マイタイムラインの
用紙に記入

04

上の3点の内容をマイタイムラインに記入する。

記録的な大雨が予測される際 ・テレビ・ラジオをつける（こどもたち） ・非常持ち出し品・備蓄品を確認する（母） ・避難経路・避難場所を確認する（みんな）
--

のように記入していきます。しかしノートなどにオリジナルで記入していくことはかなり難しいです。お住まいの市町村がマイタイムラインのテンプレートを配布している場合がありますのでご確認ください。

今月のテーマ

マイタイムラインを
作成しよう

さいごに

マイタイムラインはあくまでも行動の目安であることを忘れないでください。災害が発生した際、予測以上に被害が大きいことなどもあります。作成したマイタイムラインを家族の共通認識として、状況に応じて対応することも必要です。

消防士の品格 RETURNS

テレビで“タメロ(ためぐち)”の芸能人を見るのが多くなりました。自分より年齢も芸歴も上の人に対して「いいじゃん(良いですね、の意)」、「なくね?(あり得なくはないですか、の意)」などと話しかけています。親しみやすい、裏表がない、媚びていないなどの理由で人気なのでしょう。しかし、それは芸能界というエンターテインメントの中でのみ成立する技であり、私たち社会人が同じように振舞えば痛い目に遭うことは間違いありません。他人とのコミュニケーションを円滑にする正しい言葉遣い(敬語)はビジネスシーンに必要不可欠。ということで、今月は、対外的な場面で用いる「言葉遣い(敬語)」について学びましょう。



第一印象を大切に

第11回『言葉遣い(敬語)』



敬語を使えないのは、「私は素養のない人間です」と自己紹介をしているようなものです。

皆さん、こんにちは。高度専門教育訓練センターの松浦です。妻の機嫌が悪いときは、全く心当たりがなくても、とりあえず敬語で話しかけて様子を見ます…。皆さんもそうですね？

まずは、間違えやすい頻出フレーズベストテン(松浦調べ)から行ってみよう！

- 1位 あなたの会社 → **御社(おんしゃ)、貴社**
※「御社」は話すとき、「貴社」は書くときに用いる。
- 2位 (相手の会社の)〇〇社長様 → **〇〇社長**
※役職には敬称を付けない。
- 3位 (自分の上司の)〇〇署長にお伝えします → **署長の〇〇に申し伝えます**
※対外的な場面では、自分の上司に敬語を用いない。
- 4位 了解しました → **かしこまりました、承知いたしました**
- 5位 すみません → **申し訳ございません**
- 6位 お名前を頂戴できますか → **お名前を伺ってもよろしいでしょうか**
- 7位 どうぞお座りください → **どうぞお掛けください**
※「お座り」は犬の芸を連想させるため。
- 8位 資料を見させていただきませう、拝見いたします → **資料を拝見します**
※「拝見いたします」は二重敬語(「見る」の謙譲語+「～する」の謙譲語)で誤り。
- 9位 教えてください → **ご教示ください、ご教授ください**
※「教授」は専門的、学術的な知識、技術を授けること。指示を受ける、手順を尋ねる、日程を確認するときなどは「ご教示ください」を用いる。
- 10位 大変参考になりました → **大変勉強になりました**
※「参考」は自分の考えの足しにするとの意味で失礼。



かしこまりました…あれ??



じゃあ次は、便利なクッション言葉ベストファイブ(松浦調べ)だ！



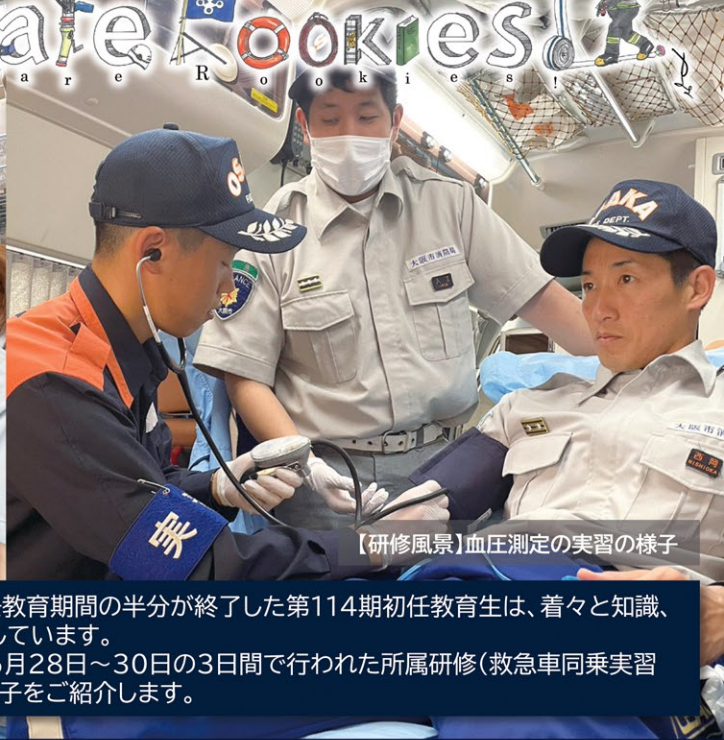
- 1位 **恐れ入りますが** ※お願いするとき用いる。他に「恐縮ですが」など。
- 2位 **ご多忙とは存じますが** ※これもお願いするとき。
- 3位 **差支えなければ** ※これもお願いするとき。他に「ご面倒をおかけしますが」など。
- 4位 **お気持ちはありがたいのですが** ※断るとき。他に「せっかくですが」「ご期待に添えず大変申し訳ないのですが」など。
- 5位 **申し上げにくいのですが** ※反論するとき。他に「お言葉を返すようですが」など。

今回の「言葉遣い(敬語)」はいかがでしたか?よく使うフレーズばかりですので、そのうち口に馴染んで自然に言えるようになると思いますよ。以上、高度専門教育訓練センターの松浦でした！

We are Rookies



【研修風景】CPR訓練で先輩から指導を受ける



【研修風景】血圧測定の実習の様子

6ヶ月の初任教育期間の半分が終了した第114期初任教育生は、着々と知識、技術を吸収しています。今月号は、6月28日～30日の3日間で行われた所属研修(救急車同乗実習を含む)の様子をご紹介します。

【所属研修】鶴見消防署

【研修所感】



第1小隊長 下川学生

(印象的な救急事案)
80代女性、脳梗塞の事案に出場しました。この傷病者は急性発症した脳卒中であり、右半身麻痺や共同偏視が現れていて、授業で学んだことを身をもって体感でき、現在学んでいることが命を救うことに直結しているんだと実感しました。

(経験をどう活かすか)
この所属研修を通じて、救急隊の先輩方が常に傷病者に寄り添い、適切な救急活動を行っているのを肌で感じました。この経験を深く自分に落とし込み、傷病者に寄り添える優しい救急隊員になれるよう努力していきます。



【研修風景】報告書作成も救急隊員の仕事です

【研修所感】



第3小隊 山本学生

(印象的な救急事案)
70代男性、自転車自己転倒という指令で出場しました。傷病者の第一印象は自転車で転倒しただけで軽症と感じていましたが、救急隊の先輩方は問診から脳出血を疑い、3名全員が適切な観察を行いながら連携した活動を行っていたことが印象的でした。

(経験をどう活かすか)
一見、軽症に見えた傷病者であっても、しっかり問診を行って適切な病院へ搬送していた先輩方を見て、自分も残りの学校生活でしっかり学び、先輩方のような一人前の救急隊員になれるよう努力していきたいと思います。

【先輩からのエール】



二人共に真剣な眼差しで研修に取り組み、救急現場では自ら傷病者に声掛けをするなど積極的に行動していました。これから困難なことがあっても周りには助けてくれる仲間(同僚)が必ずいます。怯むことなく、精一杯自分の力を発揮してってください!
鶴見第2救急隊 乾 亜沙美 司令補

【所属研修】西消防署



【研修風景】救急資器材点検の様子



【研修風景】CPR訓練の様子

【研修所感】



第1小隊 小林学生

（印象的な救急事案）

深夜1時頃、中央区の路上で発生した50代男性のCPA事案に出場しました。現場到着時、バイスタンダーがCPRを行っており、CPRを引き継ぐとともに医師に特定行為の指示を受け、LTSの挿入と静脈路確保及び薬剤投与をしたところ、心室細動となり電気ショックを行ってCPRを継続しました。CPRを継続していたところ、病院到着前に自己心拍が再開し、医師に引き継ぐことが出来ました。

（この事案で感じたこと）

この事案ではバイスタンダーがCPRを行っており、そのバイスタンダーの力が自己心拍再開に繋がったと強く感じました。このように勇気ある一歩を踏み出せる方がもっと増えてほしいと感じましたし、それを普及啓発するの我々の仕事なんだと強く感じました。

（経験をどう活かすか）

初めて緊迫感のある現場に出場しましたが、こういう時こそ落ち着いて行動することが重要であると感じました。この経験を活かし、常に現場をイメージして訓練を行っていきます。



【研修風景】報告書作成についての教養を学習中

【先輩からのエール】

CPA事案では救急隊員の一人として、処置協力を行っていただきました。小林学生の「チカラ」が心拍再開に繋がったのだと強く感じています。

この所属研修で見たもの、感じたものをしっかりと心に刻み、残された学校生活を爽りのあるものにしてください。また一緒に命を救いましょう！君たち初任学生の「チカラ」を市民のみなさんは待っていますよ！



西救急隊 山内 善章 司令補



八尾市消防本部 消防戦略を変える 次世代型消防自動車 配備



八尾市消防本部では、令和5年3月27日(月)、配備から長期間運用していた15m級はしご車を、最新鋭の屈折放水塔付多機能消防ポンプ自動車に更新し、本署に配備しました。

同車両は、900Lの水槽と圧縮空気泡消火装置、バスケット付ブームなど、従来のはしご車と比べ、機動性と複合的な機能を併せ持つ車両特性を有しています。

この車両の導入により、はしご車では進入困難な場所での活動や、災害初期活動における機動力の向上が図れるとともに、地上高13.7mからマイナス2.1m、作業半径8.4mの自由自在なブームにより、高所からの直接消火や俯瞰注水、高所からの情報収集による隊員への的確な指示、さらには、河川等での水難救助活動など、この1台で初期消火から救助活動まで、様々な災害シチュエーションに求められる役割を果たす車両となっています。

また、この屈折放水塔付多機能消防ポンプ自動車は、緊急消防援助隊登録車両として、有事の際は市内市外問わず活躍する車両となります。



和泉市消防本部

水難救助訓練を実施しました

和泉市消防本部では、令和5年6月17日(土)18日(日)市内府立高等学校の協力のもと校内プールを借用させていただき水難救助訓練を実施しました。

本市が管轄する区域には海はありませんが多数のため池や河川があり、年に数件ではありますが水難救助事案が発生しています。

今回の水難救助訓練はそれらに対応するため、水難資機材の取り扱い、基本泳法、救助泳法、水中での搬送等の技術を習得することを目的とした基礎訓練を実施しました。また毎年一回、同時期にため池にてゴムボートや救命索発射銃等を実際に使用しての応用訓練も実施しています。

数少ない災害現場で若手職員の経験不足が問題となっていますが、それらを補うためにはこのような基礎から応用訓練を積み重ねることが重要であり、また参加した隊員からも「良い経験ができた」等の声も聞くことができました。今後も様々な災害を想定した訓練を企画、実施し消防力の向上に努めてまいります。



島本町消防本部 水難救助ボートを更新しました



島本町消防本部は、今年度、水難救助ボートの更新を実施しました。

島本町は、大阪府と京都府の北東境界付近に位置しており、上流となる京都府側からは一級河川である桂川・宇治川・木津川の三河川が流れ、その合流する淀川を管内に管轄しています。

今回は、約18年使用した、ボートの更新とともに、船外機も従来のものより、パワーアップしたものとなりました。

また5月には、更新したボートを使用し、船舶免許所有者が実際の河川を使用した操作訓練を実施しています。

さらに、今年度は、流水救助用ドライスーツをはじめ、各種水難救助用資機材の更新を控えており、水難救助事案への対応強化を図っているところです。

今後も適切な資機材の更新・管理をはじめ、各種訓練を重ねることにより、災害に強い町になるよう職員一同努めたいと考えます。

柏原羽曳野藤井寺消防組合 自家用給油取扱所(災害対応型)と 全天候型グラウンドの運用開始について



柏原羽曳野藤井寺消防組合では、大規模な災害が発生した場合でも消防の機能を維持するため、消防車や救急車等の緊急車両及び非常用発電機へ燃料を安定的に供給することを目的として、消防本部のグラウンドに自家用給油取扱所(災害対応型)を設置し、令和5年5月1日(月)より運用を開始しました。

燃料の性能劣化を防止するため、一定量を確保しつつ日常業務においても消防車両等への給油を行っております。

地下貯蔵タンクの容量は20,000リットル(軽油：13,000リットル、ガソリン：7,000リットル)です。

また、当消防組合は大規模災害時の被災地進出拠点に指定されており、緊急消防援助隊等の活動拠点としての機能強化を図るためグラウンドを全天候型に改修しました。



柏原羽曳野藤井寺消防組合
ホームページQRコード



HHF_FD.119
柏原羽曳野藤井寺消防組合
公式InstagramQRコード



救急安心センターおおさか だより

救急病院？ 一般の病院？

救急安心センターおおさか（以下「当センター」という）では、大阪府域を対象に、突然の病気やケガで「救急車が必要か」「今すぐ病院へ行くべきか」「何科を受診したら良いのか」等の判断に困ったときの電話相談を行っています。相談の結果、病院受診をおすすめする場合、今いらっしゃる場所からお近くの病院をご案内しておりますが、当センターでご案内できるのは【救急病院】のみです。

【救急病院】と聞くと、「重症の患者さんが運ばれるところ」とイメージされる方も多いかもしれませんが、そのような患者さんだけに限られているのではなく、当センターでは、大阪府医療機関情報システムを通じて病院側から「その時間、その受診科目であれば案内可能」という情報をいただき、受診科目に応じた救急病院をご案内しております。

ただし、ご注意くださいのは、病院側の受け入れ体制は、医師が急患対応していたり、手術を行っていたり等で、刻一刻と変化するという事です。病院へは、受診前に必ずお電話で、診察してもらえるかを確認の上、向かっていただきますようお願いいたします。

また、病院、診療所、クリニック等、医療機関の案内を受けたいときは、「大阪府救急医療情報センター」をご活用ください。

救急医療相談・救急病院の案内
救急安心センターおおさか
#7119 又は
06-6582-7119

病院・診療所・クリニック等の案内
大阪府救急医療情報センター
06-6693-1199

※救急病院に関してはどちらでも案内可能



今月の

推しの一枚

令和5年7月22日(土)に行われた、第51回消防救助技術近畿地区指導会にて。出場隊員とご家族との一枚です。

住吉区 住吉大社

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
神武 馨彦

国宝をはじめ多数の文化財を有する住吉大社としましては、文化財の継承、信仰とお参りの方々の安全を守るため、防火、防災の意識を高くもって護持運営に努めてまいります。



日本全国に約2300社存在する住吉神社の総本山である住吉大社は、地元の人々だけでなく、世界各国から非常に多くの参拝者が御利益にあずかるために訪れており、長年にわたり多くの人々から愛される大社です。

約3万坪の広大な境内は樹齢1000年を超える御神木や、多くの木々に囲まれています。また国宝に指定され古代の建築様式を伝える四本殿をはじめ、住吉の象徴の太鼓橋などの文化財や、数々の歴史遺産を有しています。

参拝者の安全を守り、また、次の世代にその歴史遺産を引き継ぐため、住吉自衛消防協議

会設立当時より入会されている自衛消防隊は神武隊長を中心に約100人の隊員の方々が構成されています。日々防火・防災力の向上に取り組み、住吉大社の自衛のみならず、自助、共助で地域防災体制の発展に多大な貢献をされています。



女性防火クラブだより

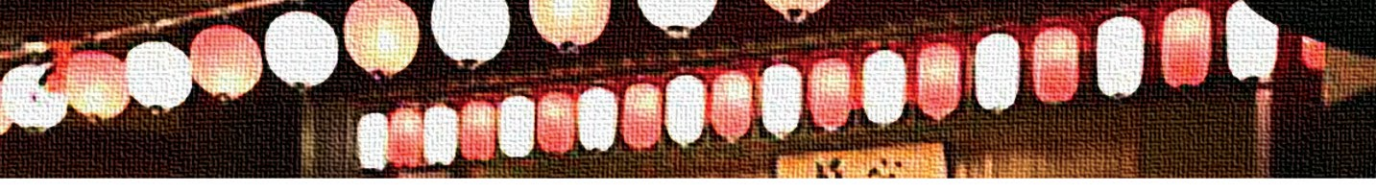
港区

私たち港区女性防火クラブは、平成3年に発足し、水上消防署管内である築港地区を除いた10連合振興町会で構成されています。昨年

の12月21日、当クラブの笠井英知子会長が、多年にわたり家庭防火及び地域防災について積極的な防火啓発活動を実施したことが評価され、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会より表彰されました。大学時代

は陸上部に所属し、自分のことを「昔からお転婆なおんなの子」と笑いながら話す笠井会長。クラブの中では最年長ですが、「今年は久しぶりにホノルムマラソンにチャレンジ」とまだまだ元気いっぱいです。普段は自転車にまたがり、港区内を「防災パトロール」。その姿はまさにお転婆なおんなの子です。そんな笠井会長とともに私たち港区女性防火クラブは、今後も地域のつながりを大切に、積極的に家庭防火、地域防災の重要性を普及啓発していきたいと思っております。





落語 DE 火の用心

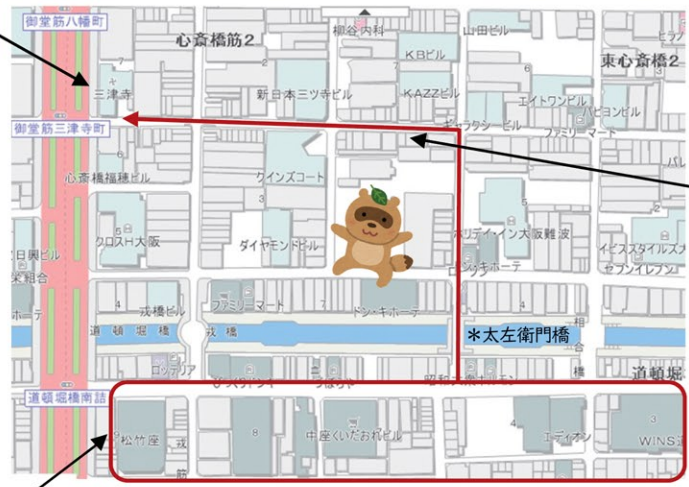


皆さん、こんにちは。今月も、どうぞ、お付き合いをお願いします。さて、まだまだ暑い日が続いてはありますが、もう9月「秋」でございませう。今回ご紹介するのは「まめだ」という、なんとも「オチ」に秋らしい情緒のある素敵なお噺なんです。「まめだ」というのは関西圏における豆狸(まめだぬき)の呼び名で、「子ダヌキ」のことです。

今月のお噺 『まめだ』

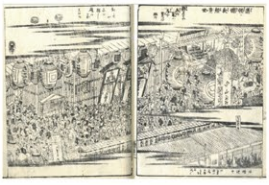
明治の初めの頃のこと。みっつらさん(三津寺)の向いに住む歌舞伎役者の右三郎が家に帰ろうとすると雨がパラパラと降り出します。傘を差して太左衛門橋を渡り、三津寺筋へ出て左に曲がったところで傘が妙に重くなります。「何じやいな？」と傘をすぼめてみても何も無い。「おかしいなあ？」と傘を差して歩きだすとまたズシツシ…、見ると何も無い。さては「まめだ」が悪戯(わるさ)をしとるなど、傘を持ったままトンボ(宙返り)を切ってみせると、地面にたたきつけられた「まめだ」は「ギャツ」という悲鳴をあげて逃げてしまいました。

この出来事があった翌日から、「家伝びっくり膏」という貝殻に入った膏薬屋を営んでいる右三郎の実家では、毎日の売上金が一銭足りず、なぜか銭箱に銀杏の葉が一枚入っているのですが…。



*「傘を差して太左衛門橋を渡り、三津寺筋へ出て左に曲がったところで傘が妙に重くなり〜」ということですので、「まめだ」に遭遇したのは、この辺ではないでしょうか。

*みっつらさん(三津寺)=七宝山大福院三津寺。中央区心斎橋筋2丁目。744年、聖武天皇の勅命により行基菩薩が創建したのを開基とする。本尊は十一面観音菩薩。地元では「みっつらさん」、「ミナミの観音さん」の通称で親しまれている三津寺ですが、現在、なんと、ホテルと一体化した極めてユニークな建物にリニューアル工事中なんですって。



*摂津名所図会 4巻下「道頓堀顔見世」大阪市立図書館「デジタルアーカイブオープンデータ」より

*江戸時代から、道頓堀の弁天座・朝日座・角座・中座・浪花座は名実ともに演劇・演芸界を代表する劇場であり、「道頓堀五座」と呼ばれていたそうで、付近一带には芝居の切符の手配や飲食の提供で見物客をもてなす芝居茶屋が軒を連ね、さながらブロードウェイのような一流を目指す芸人にとっては憧れの地やったそうです。歌舞伎役者の右三郎もこの辺りから帰ったのでしょね。

プチ上方言葉講座

「ほんなら」

【意味】
それでは・そしたら・じゃあ・するなど

【使用例】
もうあんたはんの心はようわかりましたから、ほんなら返します。



今月の消防落語は9月9日の救急の日になんで、救急舎ピーポー子さんによる「我儘救急患者」です。いつもどおり大阪市消防局公式 YouTube に高座の音源をアップしていますので、お楽しみください。



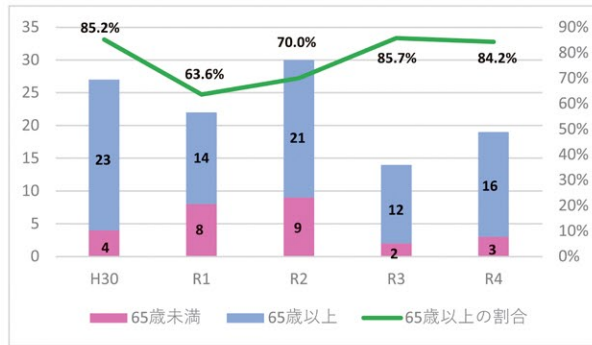
令和5年9月1日(金)～30日(土) 「高齢者セーフティネット強化月間」

大阪市消防局では、令和4年度から65歳以上の高齢者を火災などの災害から守るため、敬老の日が含まれる9月を「高齢者セーフティネット強化月間」としています。

1か月にわたるこの期間に、消防職員が高齢者宅を訪問し、火災予防や住宅内での転倒・転落防止等についての説明を行ったり、高齢者施設を訪問し、職員の方と施設内の消防用設備等の維持管理状況や避難経路の確認を行ったりします。また、避難・通報訓練、救命講習の実施など、高齢者を火災などの災害から守るための様々な取組を重点的に実施します。

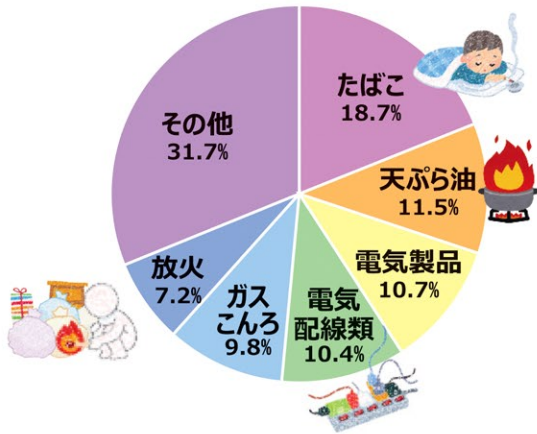
◇ 住宅火災による死者の約8割は高齢者！

大阪市内の住宅火災による死者数は毎年20人前後で推移しており、高齢者が約8割を占めています。

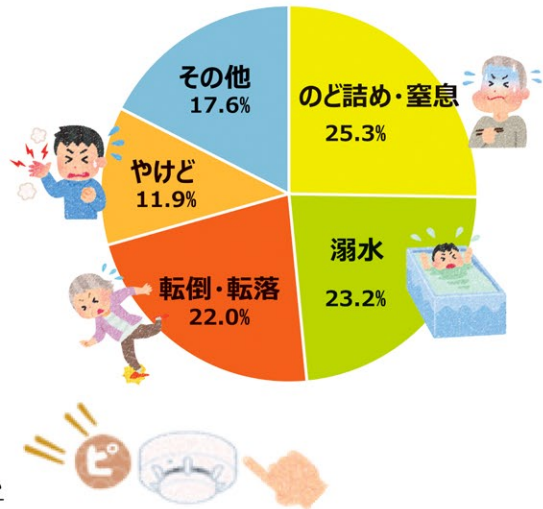


※過去5年間（平成30年～令和4年） ※放火自殺者を除く

住宅火災の原因(令和4年中)



住宅内 重症事故原因(平成29年～令和3年中)



◇ 住宅用火災警報器の設置、維持管理のお願い

住宅火災の死者のほとんどが逃げ遅れです。住宅用火災警報器は火災の早期発見に効果があります。住宅用火災警報器の設置と、定期的な点検・交換をお願いします。交換の目安は10年です。

◇ 消防職員による住まいの防火・防災診断実施中！

大阪市消防局では、消防職員があなたのお宅を訪問し、プロの視点から防火・防災に関するアドバイスを行っています。ご希望の方は、お住まいの区の消防署までご連絡ください。

「高齢者セーフティネット強化月間」における取組にご理解、ご協力をお願いします！

現場に活かす！救急救命士国家試験問題

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中から、救命士だけではなく**災害現場で活動する全ての隊員**が知識として身につけておくべき内容を紹介していきます。少し難しいと感じても大丈夫。ヒントを読むうちに答えにたどり着けますよ！では、現場での対応をイメージしつつ、早速解いてみましょう！

第45回（令和4年3月）D問題

62歳の男性。高さ1.9mのコンテナの上で立位で作業中であった。コンテナの端で足を滑らせ、後方に墜落し、同僚が救急要請した。

救急隊到着時観察所見：傾眠傾向で受傷時のことは覚えていない。呼吸数20/分。脈拍100/分。血圧148/84mmHg。SpO₂値98%。悪心と後頭部痛とを訴えている。ヘルメットは外してあり後頭部に血腫を認めるほかは体表に異常所見は認めない。両上下肢の麻痺は認めない。

この傷病者へまず行うべき対応として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 頸椎カラーを装着する。
2. 高流量酸素を投与する。
3. ロードアンドゴーとする。
4. 嘔吐に備え側臥位にする。
5. 経鼻エアウエイを挿入する。

ヒントレベル

用語の説明

●ロードアンドゴー

外傷に対して必要不可欠な処置を行いつつも、現場滞在時間をできるだけ短縮して迅速に搬送を開始する活動戦術。大阪府大阪市域MC協議会のプロトコルでは、「迅速評価でA(気道)B(呼吸)C(循環)に異常があればロードアンドゴーの適用とされる。

●経鼻エアウエイ

舌根沈下で気道が閉塞した傷病者などに対し、気道を確保するための器具。鼻出血、顔面骨折、頭蓋底骨折が疑われる場合は使用しないほうがよい。

ヒントレベル

注意すべき所見

- 後頭部痛、血腫 ⇒ 受傷機転と併せて考えると・・・。
- 呼吸数20/分、SpO₂値98% ⇒ 呼吸や循環に大きな問題はない。

ヒントレベル

ここもポイント

- 頭部外傷があり、嘔吐のリスクはあるが…。



解答・解説

解答 1 頸椎カラーを装着する。

後頭部痛と血腫があり、併せて受傷機転を考えると、**頸椎頸髄損傷について留意する必要があります、速やかに頸椎カラーなどで頸椎を保護する。**【←救急以外の隊員も知っておくべきポイント】

頻脈ではあるが呼吸数やSpO₂値に大きな異常はなく、高流量酸素を必要とする状況ではない。気道閉塞を示唆する状況でもなく、経鼻などのエアウエイ挿入は不要。また、ロードアンドゴーの適用ではない。嘔吐のリスクはあるが、頸椎保護を優先し、仰臥位か上半身を軽く挙上させた体位がよいだろう。



昇任試験問題研究所

Vol.37



ここは、大阪市内某所にある研究施設。日々、大阪市消防局の昇任試験問題の研究が行われている。主席研究員「九条みなみ」は、今日も後輩研究員たちの指導に余念がないのだった…。

第37話 ～地方公務員法～

みなみ：さあ、今月は「地方公務員法」よ。上半期は徹底的に「総務」を研究してきたけれど、どれも出題率の高い問題なので、読み返してしっかりと対策しておくこと♥それじゃあ、始めるわよ!!

第1問

地方公務員法に関する記述について、次の(①)～(⑩)にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください。(10点)

- 第30条 すべて職員は、(①)として(②)のために勤務し、且つ、職務の遂行に当っては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。
- 第31条 職員は、条例の定めるところにより、サービスの(③)をしなければならない。
- 第32条 職員は、その職務を遂行するに当って、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める(④)に従い、且つ、上司の(⑤)の命令に忠実に従わなければならない。
- 第33条 職員は、その職の(⑥)を傷つけ、又は職員の職全体の(⑦)となるような行為をしてはならない。
- 第34条 職員は、職務上知り得た(⑧)を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 第35条 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その(⑨)及び職務上の注意力のすべてをその(⑩)のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。

職員	⑩	事務	⑤
勤務時間	⑥	規程	④
秘密	⑧	宣誓	③
身分	②	職務の遂行	②
出題	⑨	昇任率の率	①

(第1号) 【景樹】

第2問

地方公務員法第29条に規定する「懲戒」に関する記述について、次の(①)～(⑩)にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください。(10点)

第29条 職員が次の各号の1に該当する場合には、これに対し懲戒処分として(①)、(②)、(③)又は(④)の処分をすることができる。

- (1) この法律若しくは第57条に規定する特例を定めた法律又はこれに基く条例、地方公共団体の(⑤)若しくは地方公共団体の機関の定める(⑥)に違反した場合
- (2) (⑦)に違反し、又は(⑧)を怠った場合
- (3) (⑨)たるにふさわしくない(⑩)のあった場合

非行	⑩	規程	⑤
昇任率の率	⑥	免職	④
職務	⑧	停職	③
職務の遂行	②	減薪	②
規程	⑨	戒告	①

(第1号) 【景樹】



「地方公務員法」は、出題範囲の条文の見出しを確認すること。内容をざっくりつかんでから、総則／通則／分限／懲戒／サービス／職員団体に分けて暗記すると効率的ね♥
あなた達の身分の取扱い等、とても重要なことが定められている法律なんだから他の規程も必ず理解しておくこと!分かった?それじゃあ今回はここまでよ、お疲れ様♥

はじめに

予防課では、令和4年中に発生した建物火災のうち、消防法でいう消防用設備等の設置又は防火管理について規制を受ける対象物（以下「規制対象物」という。）の火災発生状況を、用途別、原因別に分析しました。今月号から分析した結果を3ヵ月連載でお届けします。

（令和4年の焼損床面積、損害額が大幅に減少しているのは、令和3年に此花区で発生した大規模倉庫火災の影響によるものです。）

火災発生状況

■大阪市内の火災概況

まず、令和4年中に大阪市内で発生した火災全件の状況をみると、火災件数643件、焼損床面積4,763㎡、損害額5億671万8千円でした。

令和3年中に比べて焼損床面積は38,029㎡、損害額は242億1,652万2千円が減少したものの、火災件数は47件の増加となりました。

次に火災の内訳についてみると、建物火災502件、車両火災36件、船舶火災2件、航空機火災0件、その他の火災100件、爆発火災3件でした。

火災による死者は、放火自殺者を除くと19人で前年に比べて20人減少し、放火自殺者は2人で、前年に比べて1人減少しました。また、火災による負傷者は153人で、前年に比べて12人増加しました。

■規制対象物の火災

令和4年中に発生した建物火災502件のうち、規制対象物で発生した火災は380件で建物火災の75.7%におよびます。

焼損床面積は1,835㎡、損害額は2億7,922万8千円となっています。

前年に比べて、焼損床面積は35,697㎡、損害額は241億2,560万9千円が減少したものの、火災件数は27件増加しています。

火災による死者は、放火自殺者を除くと10人で前年に比べて19人減少し、放火自殺者は前年同様の0人となっています。しかし、火災による負傷者は108人で、前年に比べて7人増加している状況です。

■用途別にみた規制対象物の火災

次に規制対象物における火災の発生率をみると、休止休業中のものを除いた市内の規制対象物110,180件のうち火災が発生した規制対象物は380件で全体の0.3%になります。

これらを消防法施行令別表第一に掲げる用途別の火災発生件数でみると、共同住宅等（5）項口が181件と最も多く、次いで不特定多数の人が利用する複合用途防火対象物（16）項イが93件、その他複合用途防火対象物（16）項口が33件、工場・作業場（12）項イが22件となっており、これらの用途だけで規制対象物火災全体の86.6%を占めています。《表1参照》

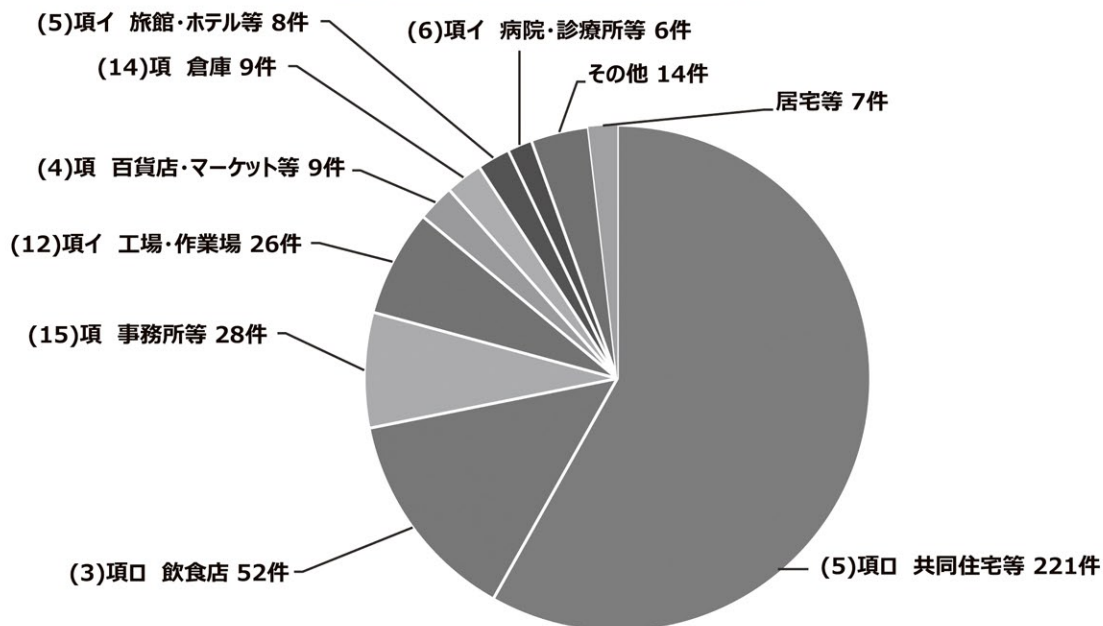
表1 令別表第一(用途別)火災発生件数

令別表	用途	件数	比率 (%)	令別表	用途	件数	比率 (%)
(1) 項	イ 劇場、映画館	-	-	(9) 項	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場等	-	-
	ロ 公会堂・集会場	-	-		イ以外の公衆浴場	2	0.5
	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	-	-	(10) 項	停車場・発着場	-	-
(2) 項	ロ 遊技場・ダンスホール	2	0.5	(11) 項	神社・寺院・教会等	-	-
	ハ 性風俗関連施設	-	-	(12) 項	イ 工場・作業場	22	5.8
	ニ カラオケ・個室ビデオ等	-	-		ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-
(3) 項	イ 待合・料理店等	-	-		イ 車庫・駐車場	-	-
	ロ 飲食店	15	3.9	(13) 項	ロ 飛行機等の格納庫	-	-
(4) 項	百貨店・マーケット等	3	0.8	(14) 項	倉庫	4	1.1
(5) 項	イ 旅館・ホテル等	7	1.8	(15) 項	事務所等	10	2.6
	ロ 共同住宅等	181	47.6	(16) 項	イ 特定の複合用途防火対象物	93	24.5
	ハ 病院、診療所等	4	1.1		ロ その他複合用途防火対象物	33	8.7
(6) 項	ロ 養護老人ホーム・老人短期入所施設等	1	0.3	(16) 項	イ 地下街	1	0.3
	ハ 老人デイサービスセンター・児童養護施設等	2	0.5	(17) 項	文化財	-	-
	ニ 幼稚園・特別支援学校	-	-	(18) 項	延長50メートル以上のアーケード	-	-
(7) 項	小中高校・大学校等	-	-		合計	380	100.0
(8) 項	図書館、博物館等	-	-				

※数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

さらに、規制対象物における火災について、出火用途別（複合用途防火対象物においては、出火した部分の用途）の発生率をみると、共同住宅等（5）項口が221件で全体の58.2%、飲食店（3）項口が52件（13.7%）、事務所等（15）項が28件（7.4%）、工場・作業場（12）項イが26件（6.8%）、となっています。《図1参照》

図1 出火用途別火災発生件数(総数380件)



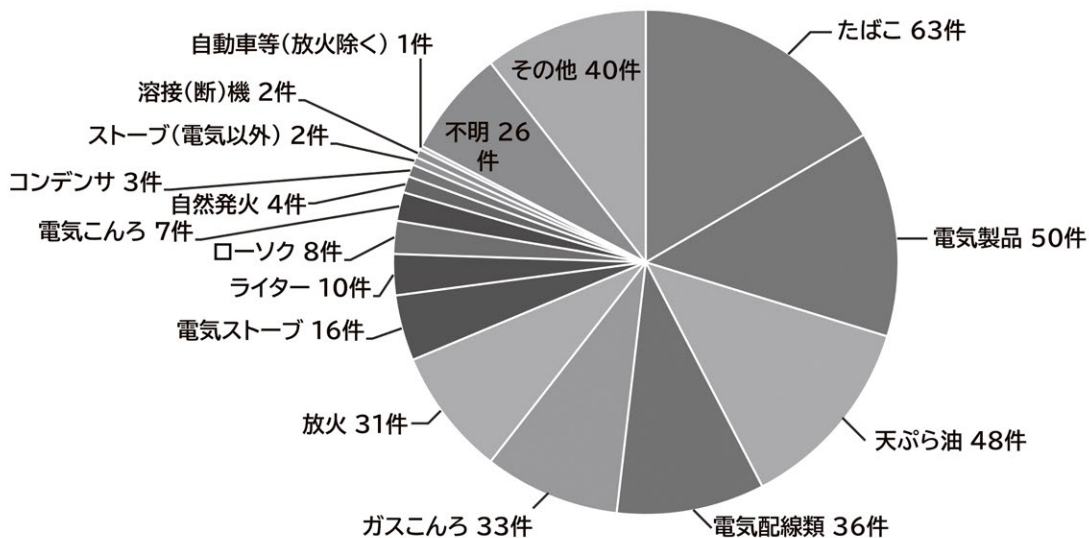
また、用途別火災発生件数のうち、複合用途防火対象物（16）項で発生した火災126件の出火した部分の用途を件数の多い順にみると、共同住宅等（5）項口部分から出火した火災が40件、飲食店（3）項口が37件、事務所等（15）項が18件となっています。

■原因別にみた規制対象物の火災

規制対象物における火災380件を出火原因別でみると、たばこが63件（16.6%）、電気製品が50件（13.2%）、てんぷら油が48件（12.6%）、電気配線類が36件（9.5%）、ガスこんろが33件（8.7%）等となっています。《図2参照》

～次号に続く～

図2 原因別火災発生件数(総数380件)



表彰

令和5年6月13日付け

火災現場における救助活動(敏動章)

1部旭梯子小隊
 消防司令 大野 淳恵
 消防司令補 國澤 淳恵

令和5年3月7日、都島区の共同住宅で発生した火災現場において、出火階の6階からは火炎及び濃煙が噴出し、7階のベランダにおいて助けを求めている要救助者に対して、救助を待つ室内からも黒煙が噴出する非常に緊迫した状況下で、要救助者の位置、状況の確に判断し、活動方針を決定。小隊長の的確な先端誘導と機関員の冷静沈着な操作により7階ベランダに架梯を行った。小隊長はベランダへ乗り移り、黒煙にあおられ恐怖に慄く要救助者に継続した声かけを実施するとともに、空気呼吸器による呼吸管理、安全帯の装着及び梯体への確保ロープの設定を行った後、介添えしながら要救助者を梯子先端に乗り移らせた。黒煙と熱気が一層激しさを増してきたためリフターに移動する暇はないと判断し、梯子を縮梯して地上へ救出した。なお、縮梯時にも要救助者の安全を十分に配慮し、安全に地上へ救出した功績による。

火災現場における救助活動(敏動章)

2部淀川梯子小隊
 消防士長 船田 聡志
 消防士 東 聡志

令和5年3月11日、淀川区の共同住宅で発生した火災現場において、7階出火室のベランダの柵にしがみつき、室内からも黒煙が噴出する非常に緊迫した状況下で助けを求めている要救助者に対して、要救助者の位置、架梯障害の状況、車両の諸元・性能を的確に判断し



敏動章を授与された皆様

活動方針を決定。小隊長はバスケット内に搭乗し、機関員は冷静沈着に操作を行い最短距離での架梯を開始した。小隊長は開口部より噴出する黒煙が火炎に変わったこと、要救助者の危機のかつ不安定な状況であることから一刻の猶予もないと判断し、要救助者の手をヒューマンチェーンにより保持し、片足をバスケットに掛けさせ、上半身を確実に把持してバスケット内へ引き込むように収容した。バスケット内収容後は、確保ロープを設定し安全に地上へ救出した功績による。

救急活動(賞与)

住之江消防署
 1部住之江第1救急隊

消防司令補 坂口 徹
 消防士長 河上 尊司
 消防士長 南 聡馬

令和4年12月15日、住之江区の路上で発生した70代男性の心肺停止事案において、現場到着後、速やかに観察を行いCPAであることとを確認。直ちにインハレーター付きBVMを用いたCPRを行うとともに、除細動パッドを装着。解析を行うと心室細動を認めため、時期を逸することなく除細動を実施。車内収容後、特定行為の指示を受け、LTSによる気道確保を実施し、併せて2回目の除細動と絶え間なく質の高いCPRを継続した。3回目の解析時に総頸動

脈の触知を認め、自己心拍の再開を確認したことから人工呼吸のみを継続した。搬送先決定前に自発呼吸の再開を確認したが、正常な呼吸ではなかったため、人工呼吸を継続。搬送中も容態変化に備えた適切な状態管理を継続し医師に引き継いだもので、早期の除細動と高度な救命処置を迅速かつ的確に実施し傷病者の救命に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

平野消防署
 1部喜連小型タンク小隊

消防司令補 高稲 孝輔
 消防士長 西口 知和
 消防士長 西口 雅彦
 消防士 森山 隆己

令和5年2月17日、東住吉区の飲食店で発生した救急事案において、救命連携活動隊として出場。現場到着後、従業員が実施していた胸骨圧迫を引き継ぐとともに情報収集を行い、窒息のサインが出ていたと聴取したため、口腔内を確認したところ食物残渣を確認。用手により除去し人工呼吸と胸骨圧迫を再開した。救命処置を継続していることと傷病者に目的のある仕草があり、観察を実施したところ、あえぎ呼吸と橈骨動脈で脈拍を認めため補助換気と観察を継続した。また、到着した救急隊に傷病者の引き継ぎ及び情報伝達を行い、傷病者の搬出及び資器材搬送にも

協力したもので、救急隊到着前に自己心拍及び自発呼吸を再開させるなど傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動に付帯する活動(賞与)

警防部司令課 1部指令管制

消防士長 山口 智也

令和5年2月17日、東住吉区の飲食店で発生した救急事案において、通報者から必要な情報を聴取した結果、心肺停止事案である可能性が高いと判断したため、自動音声指令機能を活用し救急隊及び救命連携活動隊を出場させるとともに、自動体外式除細動器を用いた心肺蘇生法を的確に指示したことにより、救急隊が到着するまでに効果的な救命処置を実施させ、傷病者の良好な予後大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

平野消防署

2部喜連小型タンク小隊

消防司令 照屋 信

消防司令補 宮崎 裕行

消防士長 永岡 涼

消防士 武智 将吾

令和5年2月19日、平野区の一軒住宅で発生した70代男性の心肺停止事案において、救命連携活動隊として出場。現場到着後、直ちに観察を行いCPRであることを確認したため、家人が実施していた胸骨圧迫を引き継ぐとともに除

細動パッドを装着。解析を行うも除細動非適応であったため、胸骨圧迫及び人工呼吸を継続するとともに家人より情報収集を実施した。救急隊到着後も情報共有を図るとともに、救命処置の補助を積極的に行った結果、現場にて自己心拍の再開を認めた。また、搬出準備を的確に行い迅速な車内収容に協力したもので、絶え間なく質の高いCPRを実施し救急隊に引き継いだことにより、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動に付帯する活動(賞与)

警防部司令課 2部指令管制

消防士長 吉村 昂俊

令和5年2月19日、平野区の一軒住宅で発生した70代男性の心肺停止事案において、通報内容から心肺停止事案であることを判断し、自動音声指令機能により救急隊及び救命連携活動隊を出場させるとともに、不安を覚える家人を落ち着かせ、胸骨圧迫の具体的な方法を的確に指示したことにより、救急隊到着後には心拍再開するまでに症状が改善しており、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

非番日等における火災現場での活動(賞与)

消防部総務課

消防司令補 上口 祐弥

令和5年2月21日、西成区の共同住宅で発生した火災現場におい

て、発生場所付近をランニングしていたところ臭気及び煙気を確認し、その方向へ向かうと2階建共同住宅の2階から火炎が噴出して

いることを視認した。直ちに周辺住民に119番通報の状況を確認し、消火器等による初期消火を検討するも火勢の状況から困難であると判断すると、時機を失することなく住民の避難誘導に着手した。次々に住民が避難してくる混乱した状況にあったが、1階部分は屋内進入が可能であることを確認し、1階廊下部分にいた男性1名及び室内に車椅子にて取り残された女性1名を発見し屋外へ誘導。さらに室内のベッド上にいた高齢男性を警察官と協力しかかえ搬送にて屋外へ救出した。状況が目まぐるしく変化する中、冷静沈着な判断により住民を救出したほか、到着した消防隊へも迅速かつ的確な情報伝達を行った功績による。

警防活動に付帯する活動(賞与)

警防部司令課 1部指令管制

消防司令補 大槻 銀河

令和5年2月27日、北区の共同住宅で発生した火災現場において、動揺している通報者を落ち着かせ、通報内容から燃焼は鍋内の油のみであることを聴取り、バスタオルを用いた初期消火の具体的な方法を指示し消火を成功させたことにより、消防隊到着時には完全に消火した状態で引き継ぐことができ、

被害の拡大を最小限に阻止した功績による。

救急活動(賞与)

旭消防署 1部旭小型タンク小隊

消防司令補 澤井 翔大

消防士長 田島 大輔

消防士 内田 勇太

消防士 飯田 海

令和5年3月5日、旭区の路上で発生した50代男性の心肺停止事案において、救命連携活動隊として出場。現場到着後、直ちに観察を行いCPRであることを確認したため、同僚が実施していた胸骨圧迫を引き継ぐとともに除細動パッドを装着。解析を行うと、除細動適応であったため、時期を逸することなく除細動を実施し胸骨圧迫を継続した。救急隊到着後、波形確認を行った結果、心拍が再開し総頸動脈に触知を認めた。また、救急隊の車内収容作業にも協力し、車内収容後には自発呼吸を認めたもので、早期の除細動と絶え間なく質の高いCPRを実施したことにより、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

平野消防署

1部喜連小型タンク小隊

消防司令 塩田 裕亮

消防司令補 福井 和光

消防士長 西口 知和

消防士 森山 隆己

令和5年3月28日、平野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、出火建物の1階からは火炎が
噴出し、3階の腰高窓に煙に巻か
れながら上半身を乗り出し、手を
振り助けを求めている要救助者2
名を確認した。直ちに救出に向か
う旨を伝えるとともに、放水準備
を整え、車両の作業灯を使用し救
助活動に対する照明作業を行った。
また、隊員1名は要救助者に対す
る援護注水を実施し、小隊長及び
隊員は施設されていた扉を破壊し
て内部進入、1階の検索及び上階へ
の延焼阻止を行ったもので、他隊と
の連携を密にし救出活動を考慮した
活動を行うなど、要救助者の救出に
大きく貢献した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

平野消防署 1部平野特別救助隊
消防司令補 千葉 嵩史
消防士長 野口 佑介
消防士 山際 洋平
久保 勝利

令和5年3月28日、平野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、出火建物の1階からは火炎が
噴出し、3階の腰高窓に煙に巻か
れながら上半身を乗り出し、手を
振り助けを求めている要救助者2
名を確認した。直ちに3階腰高窓
へ三連梯子を架橋し隊員が登はん
したところ、1人目の要救助者が
2人目の要救助者に押し出される
ような形で腰高窓より転落しそう
になったため、すぐさま確保し後
続の隊員とともに要救助者の体勢
を立て直し、かかえ救出にて安全
に地上へ救出した。さらに、2人
目の要救助者に対しても、東住吉
救助隊と連携し確保ロープを使用
して、かかえ救出にて安全に地上
に救出した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

東住吉消防署
1部矢田小型タンク小隊
消防司令 藤本 聖佳
消防士長 榎木 萩兵
消防士長 尾花 一
消防士 北川 佑馬

令和5年3月28日、平野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、出火建物の1階からは火炎が
噴出し、3階の腰高窓に煙に巻か
れながら上半身を乗り出し、手を
振り助けを求めている要救助者2
名を確認した。直ちに直近部署隊
員に対する中継注水を完了し、要救
助者2名に対する援護注水を実施
したもので、延焼危険方向や要救

助者の救出活動状況を冷静に判断
した活動を行うなど、要救助者の
救出に大きく貢献した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

平野消防署 1部平野特別救助隊
消防司令補 千葉 嵩史
消防士長 野口 佑介
消防士 山際 洋平
久保 勝利

令和5年3月28日、平野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、出火建物の1階からは火炎が
噴出し、3階の腰高窓に煙に巻か
れながら上半身を乗り出し、手を
振り助けを求めている要救助者2
名を確認した。直ちに3階腰高窓
へ三連梯子を架橋し隊員が登はん
したところ、1人目の要救助者が
2人目の要救助者に押し出される
ような形で腰高窓より転落しそう
になったため、すぐさま確保し後
続の隊員とともに要救助者の体勢
を立て直し、かかえ救出にて安全
に地上へ救出した。さらに、2人
目の要救助者に対しても、東住吉
救助隊と連携し確保ロープを使用
して、かかえ救出にて安全に地上
に救出した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

東住吉消防署 1部東住吉救助隊
消防司令 山口 誠
消防士長 中野 昇平
消防士 光法 慶
山本 空輝

令和5年3月28日、平野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、出火建物の1階からは火炎が
噴出し、3階の腰高窓に煙に巻か
れながら上半身を乗り出し、手を
振り助けを求めている要救助者2
名を確認した。直ちに3階腰高窓
へ三連梯子を架橋し隊員が登はん
したところ、1人目の要救助者が
2人目の要救助者に押し出される
ような形で腰高窓より転落しそう
になったため、すぐさま確保し後
続の隊員とともに要救助者の体勢
を立て直し、かかえ救出にて安全
に地上へ救出した。さらに、2人
目の要救助者に対しても、東住吉
救助隊と連携し確保ロープを使用
して、かかえ救出にて安全に地上
に救出した功績による。

令和5年3月28日、平野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、出火建物の1階からは火炎が
噴出し、3階の腰高窓に煙に巻か
れながら上半身を乗り出し、手を
振り助けを求めている要救助者2
名を確認した。直ちに3階腰高窓
へ三連梯子を架橋し隊員が登はん
したところ、1人目の要救助者が
2人目の要救助者に押し出される
ような形で腰高窓より転落しそう
になったため、すぐさま確保し後
続の隊員とともに要救助者の体勢
を立て直し、かかえ救出にて安全
に地上へ救出した。さらに、2人
目の要救助者に対しても、東住吉
救助隊と連携し確保ロープを使用
して、かかえ救出にて安全に地上
に救出した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

阿倍野消防署
1部阿倍野特別救助隊
消防司令 井内 雅也
消防司令補 京地 吉明
消防士長 山本 寛樹
柿山 史弥

令和5年4月4日、阿倍野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、火元建物付近は煙が漂って
おり、施設された玄関扉を阿倍野
特別救助隊と協力して破壊し屋内
進入した。火炎が天井に噴出し
てきたため火勢を抑えるための
放水を実施し、阿倍野特別救助隊
が室内を重点的に検索したところ
風呂場にて要救助者を発見した。
阪南小型タンク小隊は阿倍野特別
救助隊の熱画像直視装置を使用し

火災現場における救助活動(賞与)

阿倍野消防署
1部阪南小型タンク小隊
消防司令 高田 敦史
消防司令補 岡 智昭
消防士長 鍵 徹
消防士長 石塚 聖

令和5年4月4日、阿倍野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、火元建物付近は煙が漂って
おり、施設された玄関扉を阿倍野
特別救助隊と協力して破壊し屋内
進入した。火炎が天井に噴出し
てきたため火勢を抑えるための
放水を実施し、阿倍野特別救助隊
が室内を重点的に検索したところ
風呂場にて要救助者を発見した。
阪南小型タンク小隊は阿倍野特別
救助隊の熱画像直視装置を使用し

て、検索と救出活動の妨げとなら
ないよう放水と停水を効果的に実
施し、要救助者を安全に屋外へ救
出した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

阿倍野消防署
1部阿倍野特別救助隊
消防司令 井内 雅也
消防司令補 京地 吉明
消防士長 山本 寛樹
柿山 史弥

令和5年4月4日、阿倍野区の一
般住宅で発生した火災現場におい
て、火元建物付近は煙が漂って
おり、先着の阪南小型タンク小隊
と協力して玄関扉を破壊し屋内進
入した。阪南小型タンク小隊が火
勢を抑えるための放水を実施し、
阿倍野特別救助隊は室内を重点的
に検索したところ風呂場にて要救
助者を発見した。直ちにレスクマ
スクを装着し、かかえ搬送にて安
全に屋外へ救出した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

生野消防署
1部巽小型タンク小隊
消防司令 松田 嘉之
消防司令補 花谷 和広
消防士長 戸田 晃
消防士 佐藤 晃祐

令和5年4月7日、生野区のお
舗兼住宅で発生した火災現場にお
いて、施設されていた玄関扉を破
壊して進入し、1階居室において

床から天井にかけて炎が立ち上がっている状況を確認するとともに居室中央付近に仰臥位で倒れていた要救助者を発見した。自隊に続き進入していた中川小型タンク小隊の小隊長と協力して屋外まで搬送し救出した。その後、再度消火及び検索のため進入した際に、さらにトイレ内で女性1名を発見し屋外まで安全に誘導した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

生野消防署

1部中川小型タンク小隊

消防司令補

久保 智昭

消防司令補

船田 明

消防士長

西林 幸哉

消防士

正池 遼

令和5年4月7日、生野区の店舗兼住宅で発生した火災現場において、先着の巽小型タンク小隊が施錠されていた玄関扉を破壊して進入し、1階の居室において床から天井にかけて炎が立ち上がっている状況を確認するとともに居室中央付近に仰臥位で倒れていた要救助者を発見した。巽小型タンク小隊に続き進入した小隊長が要救助者を協力して屋外まで搬送し救出した功績による。

救急活動(賞与)

都島消防署

2部高倉小型タンク小隊

消防司令

手嶋 康智

消防司令補

清水 邦泰

消防司令補 石原 俊
消防士 藤原健士郎

令和5年4月9日、都島区の路上で発生した高齢女性の心肺停止事案において、救命連携活動隊として出場。現場到着後、直ちに観察を行いCPAであることを確認したため、知人が実施していた胸骨圧迫を引き継ぎ胸骨圧迫を実施した。除細動パッドの装着準備をしていると救急隊が到着したため、救急隊と協力して胸骨圧迫及びイソハレーター付きBVMを用いたCPRを継続した。AEDによる解析を行うと除細動の適応であったため、ただちに除細動を実施し胸骨圧迫及び人工呼吸を再開して知人より情報収集を実施した。救急隊長の命により胸骨圧迫及び呼吸管理等の補助を積極的に実施した。車内収容後も隊員が車内に入り胸骨圧迫を継続。搬送開始まで胸骨圧迫を実施し、病院到着前に自己心拍及び自発呼吸が再開したもので、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動に付帯する活動(賞与)

警防部司令課 2部指令管制

消防士長 西口 拓馬

令和5年4月9日、都島区の路上で発生した高齢女性の心肺停止事案において、通報者から必要な情報を聴取した結果、心肺停止事案であることを判断し、自動音声指令機能により救急隊及び救命連

携活動隊を出場させるとともに、不安を覚える通報者に対し丁寧な声掛けを続け、胸骨圧迫の具体的な方法を的確に指示したことにより、救急隊到着後には心拍が再開し自発呼吸をするまでに症状が改善しており、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

都島消防署

1部都島小型タンク小隊

消防司令補

藤原 伸司

消防司令補

畠中 喜之

消防司令補

松浦 圭祐

消防士

秋庭 央弥

令和5年4月10日、都島区の事業所で発生した50代男性の心肺停止事案において、救命連携活動隊として出場。現場到着後、直ちに観察を行いCPAであることを確認したため、胸骨圧迫を実施し除細動パッドを装着。解析を行うと、除細動適応であったため、時期を逸することなく除細動を実施し胸骨圧迫を継続した。救急隊到着後、波形確認を行った結果、心室細動の波形を確認したため2回目及び3回目の除細動を実施した。また、救急車内への収容作業にも協力し、車内収容後に自己心拍が再開したもので、早期の除細動と絶え間なく質の高いCPRを実施し救急隊に引き継いだことにより、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。



※所属階級は事案により令和5年3月現在のものも含まれます

アニマル環状線

～我が家の癒しをおすそ分け～

3年前に保護犬カフェで運命的な出会いを果たし、我が家の一員となったミニチュアダックスフンドの女の子「カノン」。私がパッヘルベルのカノンという曲が好きだったため命名しました。カノンがやってきたその日から、我が家のすべてが「カノンファースト」。カノンが暑そうであればエアコンをON、顔を撫でてとせがんできたらフェイスマッサージが始まります。朝の日課は庭で母の膝の上で仰向けになりブラッシング。これが至福の時のようです。夜は自転車の前かごに乗って区内をパトロール。帰ってきたらすぐに家の中に駆け込み「私が区内の安全を守っているんだ!」とばかりに家族に異常の有無を報告します。



ずっとゲージに入れられて育ってきたようで、人や犬を怖がり、初めは散歩も知らないようでしたが、今では外に出ることを喜ぶまでになりました。我が家に来るまで大変な人生ならぬ犬生?を生きていたのだから、思いっきり甘えさせてあげようと思います。カノンのおかげで我が家に幸せと笑いが増えましたが、願わくばカノンが我が家に来てよかったと思っていてくれてたらいいなあ。

西消防署 廣田 裕美子



編集後記

表紙のウラ側



今月号は救急特集ということで、本部救急隊の救急車と隊員に整列してもらい撮影しました。

救急救命技術研修会を見学した。人形が相手とはいえ、胸骨の真ん中を音を立てて圧迫する「自動式心マッサージ器」の動きを間近に見て衝撃を受けた。

研修会の最後、医師の講評で印象に残ったのは「人にしかできない事をいかに行うか」という言葉だった。機器は日々進歩する。それでも救急という極限状態で、人にしかできない事は山のようにある。

年間24万件を超える救急事案を扱う大阪市消防局。そのひとつひとつに、何人もの隊員が関わっている。安心できるまちへの道筋は、そんな一つ一つの積み重ねだ。どの案件にも、日頃の訓練が遺憾なく発揮されますように。見学を終え、祈りにも似た気持ちになった。(K)

大阪消防

令和5年9月号 第74巻第9号 通巻第882号

発行	大阪消防清風会	編集	大阪市消防局企画部企画課内大阪消防編集部
企画・監修	大阪市消防局		〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54
年間購読料	年間5,280円 (消費税・送本手数料含む)		T E L 06-4393-6036
			F A X 06-4393-5120
制作・販売	株式会社サイネックス		Eメール pa0110@city.osaka.lg.jp

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。

火災警報器は 10年で交換や~!

火災警報器の音やないで
わたしの持ちギャグや

ブー ブー ブー ブー ブー

定期的
に点検
してや



住宅用火災警報器は
定期的に点検し、
10年を目安に交換してください

吉本新喜劇
座長 酒井藍



大阪府下消防長会

YOSHIMOTO IIO inc.

協賛：(一財)大阪消防振興協会・(一社)大阪市防火管理協会

住宅用火災警報器のお問い合わせは
最寄りの消防本部・消防署まで



住宅用火災警報器
ムービー公開中!

消防人は災害時は「家」にいません。

消防人の備え



大切な家族のために十分な備えを！

「Chat GPT」(AI) に聞いてみた

Q：防災用品は必要ですか？

A：防災用品は必要です。地震、台風、洪水、火災などの自然災害や、テロや事故などの人災が発生する可能性があります。

防災用品を備えることで、災害が発生した際に生き残るための準備を整えることができます。防災用品には、非常食や水、ラジオ、懐中電灯、毛布、衣服、衛生用品などが含まれます。これらの用品を備えることで、避難所や自宅での生活を維持することができます。また、防災用品は、非常時に備えて早めに用意することが大切です。災害が発生してから用意しようとしても、すでに手に入らない可能性があります。

(中略) 防災用品は自分自身だけでなく、家族や地域社会のためにも必要です。

以上の理由から、防災用品は必要不可欠であり、早めの準備が重要です。という答えでした。

大阪消防振興協会では消防職員を応援しています。

消防職員は災害時には消防緊急援助隊の活動など長期に及ぶ場合があります。特に被災地の消防職員は自身が被災者であっても消防活動を行わなければならないこともあります。ご自身の家族を守るために防災用品は必ず備えておくことが必要となります。

大阪消防愛読者様への特別幹旋のご案内

防災用品を「割引き」でご提供します。(令和5年9月末日まで)

「大阪消防を見た」で1割引きといたします。(お電話での注文のみとなります：06-6459-1456)

 **大阪消防振興協会** <http://www.ossk.or.jp>

Facebook



当局が実施する各種イベントのお知らせや開催の模様をお届け！



主に緊急情報や火災予防、予防救急に関するお知らせをお届け！

X

(旧: Twitter)



大阪市消防局

みなさま、たくさんのフォロー&いいね！
よろしくお願いします

公式 SNS

大阪市消防局では現在、公式SNSを4つ運用しており、それぞれのツールで最新の情報をお届けしています。



フォトコンテストや消防隊の訓練の様子を写真や動画にてお届け！



Instagram



当局が実施する各種イベントや火災予防啓発などに関する動画をお届け！



YouTube